

# 令和5年度 香南市産業振興計画の取り組み状況について (R5.10月末実績)

・ 農業分野	:	1	～	5	ページ
・ 林業分野	:	6	～	7	ページ
・ 水産業分野	:	8	～	10	ページ
・ 商業分野	:	11	～	15	ページ
・ 工業分野	:	16	～	18	ページ
・ 観光分野	:	19	～	25	ページ


令和5年度の取り組み状況【農業分野】


	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
新規就農者数	10人	-	-	

※ 目標値である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」。

■ 取組の総評（※ 左の数値に対しての総評）


<p>【R5.5月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>新規就農相談件数は23件で、前年同月対比＋3件と相談件数は増加傾向にある。相談内容としては親元就農のほか、他産業からやUターンによる就農相談もあるが、就農前の研修受講が難しい方や、研修に対する意識が低い方などで補助要件を満たさず、事業申請に至らないケースも多かった。</p> <p>【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A)</p> <p>引き続き、農業振興センターやJAと連携を図り、各機関の担当者も交え就農相談に対応していく。また、コロナ禍で出展を見合わせていた新・農業人フェアへも、久々に11月(大阪会場)、1月(東京会場)と出展が決まり、今後は県外でのPRも積極的に行っていく。</p>
---



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手確保に 向けた取り組み</div> <div><div>4</div><div>質の高い教育を みんなに</div><div></div></div>	◆ 担い手確保に向けた取り組み			
	1. 新規就農者総合対策事業(就農準備資金)	【当初】 次世代を担う農業者となることを志向し、就農に有効であると認める研修を実施する研修機関(農業大学校等)において農業経営育成教育研修を受ける者に対して当補助金を交付する。 ※ 高知県による直接交付事業。 新・農業人フェアへの参加 県内就農相談会への参加  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:0人 (参考)昨年度からの研修生(R5.7月まで):2名	関係機関が連携し、新規就農希望者への相談対応を行っているが、要件を満たさない方や、要件を満たしていると考えられる場合であっても研修受入が可能な農家がいいることなどが原因で10月末までの新規採択者はいなかった。  研修に対する意識が低い(ない)相談者など、営農の継続性を考慮すると面談の中で事業の活用が困難とする方も多い。	新・農業人フェアへの出展(11/25大阪、1.20東京)も決定。今後も県内外での相談およびPRの機会を積極的に活用していく。また、引き続き普段からの窓口対応も含め就農相談等により、意欲ある就農希望者へ香南市をPRし、研修からサポートしていく。相談内容はJA・高知県中央東農業振興センターと情報共有・連携し補助事業の周知を図る。  現時点で研修受入農家とのマッチングまで進んでいる方は1名(ピーマン)だが、補助事業の採択としては次年度となる見込み。
	目標値       : 補助交付人数(1人) 10月末実績   : 0人 ※旧「農業次世代人材投資事業(準備型)」 R4年度より名称変更。  【実施主体】 高知県  【連携する分野】- (※当事業は就農前の支援)			
	2. 雇用就農資金事業	【当初】 農業法人等が、新規就農者や被災農業者を雇用し、技術・経営ノウハウ等を習得させるために研修を実施したり、職員等を次世代の経営者として育成するために、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人へ派遣して、雇用就農者の確保及び育成を図る。  【10月末までの取り組み状況】 新規採択者:0人 (参考)昨年度からの研修生(R6.3月まで):1名	夏頃までに具体的な相談が2件(ともに品目はニラ)あり、その時点で本年度事業としては第3回目の募集(申請開始が11月以降)を残すのみとなっていたため、10月末までの新規採択者はいなかった。 2件のうち1件は申請を行い、R6年2月から事業開始予定。もう1件は申請直前の持病の悪化により申請を断念している。 受入農家が就農希望者を正規雇用することが前提の事業であり、繁忙期や短時間での臨時雇用が多い中で正規雇用での受入が可能な農家を見つけていくことが今後の課題と言える。	JA・高知県中央東農業振興センターと情報共有や連携を図っていく中で、指導農業士や大規模経営を行っている農家を中心に正規雇用の可能性を探り、新規就農希望者とのマッチングを図っていく。
	目標値       : 補助交付人数(1人) 10月末実績   : 0人 ※旧「農の雇用事業」R4年度より名称変更。  【実施主体】 高知県農業会議  【連携する分野】- (※当事業は就農前の支援)			

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の数値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手確保に向けた取り組み</div> <div> <div>4</div> <div>質の高い教育をみんなに</div> <div>  </div> </div>	<b>3-1. 担い手支援事業</b> （青年農業者支援区分） 目標値：補助交付人数（4人） <b>10月末実績：3人</b> ※R5年度より(青年農業者支援区分)に名称変更。 <b>【実施主体】</b> 高知県、香南市 <b>【連携する分野】</b> － (※当事業は就農前の支援) (※1.農業次世代人材投資事業とリンクする)	<b>【当初】</b> 産地提案書及び香南市基本構想に基づく品目を栽培する専業農家を目指し、研修を実施する研修機関等及び農の雇用事業を活用する農業法人等で研修を受ける者に対して県及び市が補助する事業。 ※農業次世代人材投資事業(準備型)及び雇用就農資金上乗せ事業。 ※農業次世代人材投資事業(準備型)の対象外となる年齢の者も対象となる。(15歳以上65歳未満) <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 新規採択者:0人 継続区分:3人(ニラ2名、フルーツトマト1名)	事業No.1就農準備資金やNo.2雇用就農資金の上乗せ事業が基本であり、新規採択者は0人。本事業は単年度ごとに交付決定が出ているため、継続区分として、前年度からの研修生3名が該当。	事業No.1及び2の上乗せ以外にも年齢要件を少し広げて対象とすることができるため、新規就農相談の中で、49歳以上の方を中心に担い手育成センター等での研修を促し、研修の受講が可能の方には事業活用を勧めていく。
	<b>3-2. 担い手支援事業</b> （後継者育成支援区分） 目標値：補助交付人数（3人） <b>10月末実績：1人</b> <b>【実施主体】</b> 高知県、香南市 <b>【連携する分野】</b> － (※当事業は就農前の支援)	<b>【当初】</b> 農家子弟を県外等からUターン就農させ、経営体の後継者として育成を行う認定農業者等に対して補助を行う。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 新規採択者:1人	昨年度からの相談者で、4月から担い手育成センターでの研修開始、7月からは親元での研修を開始している方が1名(ミカン)。その他にも親元就農の相談はあるものの、親元での一労働力として考えられている方も多く、担い手育成センター等での研修が困難で事業活用に至らない場合も多く、その場合、市単独事業である農業後継者推進事業費補助金の案内をしている。	子や孫に農業を継いでもらいたいと考えている農家に対し、親元就農に関する情報(補助事業)を抜粋したPRチラシを作成し、11月以降で配布を開始。認定農業者連絡協議会での配布をはじめ、就農相談会等での活用で市単事業と併せて親元就農の支援に向け取り組んでいく。
	<b>4. 新規就農者総合対策事業(経営開始資金)</b> 目標値：補助金の新規交付人数（4人） <b>10月末実績：2人</b> ※旧「農業次世代人材投資事業(開始型)」R4年度に名称変更。 <b>【実施主体】</b> 高知県、香南市 <b>【連携する分野】</b> － (※当事業は就農後の支援)	<b>【当初】</b> 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し当補助金を交付し、青年就農者の確保及び育成を図る。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 新規交付人数:2人	事業No.1就農準備資金の活用による研修が終了した2名が実践型研修ハウスを活用し8月から独立自営就農となった。(ニラ、フルーツトマト)その他にも本事業の活用について相談はあるものの、経営面積が極小であることや、少量多品目、兼業希望など専業農家として営農継続が難しいと思われる方も多く、資金の活用には至っていない。	現時点で本年度内での事業採択が見込まれる方はいないが、次年度4月以降で独立予定の方が2名。(事業No.2雇用就農資金による研修終了からの独立自営就農(ニラ)と地域おこし協力隊の任期満了に伴う独立自営就農(ミカン))現在はこの2名の独立に向けた計画策定のため面談を行っており、年度内に担い手協議会による審査予定。その他にも、引き続き窓口等での就農相談で要件に合う方がいれば案内を行っていく。
	<b>5. 農業後継者推進事業</b> 目標値：補助金の新規交付人数（6人） <b>10月末実績：2人</b> <b>【実施主体】</b> 香南市 <b>【連携する分野】</b> － (※当事業は就農後の支援)	<b>【当初】</b> 農業後継者の就農直後の不安定な経営を改善し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。(3親等以内の親族が経営する農業の後継者で、県及び国の支援事業に該当しない者が対象となる。) <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 新規採択者:2人 計画策定が済み、担い手協による審査待ちが2名	担い手育成センターでの研修受講が難しく事業No.3-2担い手支援事業(後継者育成支援区分)の要件を満たせない方などを中心に案内しており、10月末時点で新規採択者は2名。面談を重ね収支計画などの申請書類を作成し担い手協議会による面接審査を待っている方が2名いる。	国・県事業の対象とならなかった方への受け皿として比較的要件を緩和している事業でもあるため、事業No.3-2で記載のPRチラシなどを活用し引き続き親元就農への支援に取り組んでいく。
	<b>6. モニターツアー事業</b> 目標値：参加者人数（20人） <b>10月末実績：1人</b> <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市観光協会 / (株)山北みらい <b>【連携する分野】</b> － (※当事業は就農を検討される方に向けたスタートアップ事業)	<b>【当初】</b> <b>事業中止</b>		

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
経営改善・農地維持に向けた取り組み	◆経営改善・農地維持に向けた取り組み			
	1. 園芸用ハウス整備事業	【当初】 農家が規模拡大をする場合や、新規就農者がハウスを建設する場合に、JAがとりまとめを行い、申請してくるレンタルハウス事業や、中古ハウスの修繕や災害復旧に伴う建て替え等の整備に必要な経費の一部を県と市が補助し、農業者負担の軽減を図る。 【参考】 新規就農区分…新規ハウスを建設(新規就農者) 高度化区分 …新規ハウスを建設(新規就農者以外) 流動化区分 …中古ハウスを修繕又は移設 災害復旧区分…被災ハウスの復旧  【10月末までの取り組み状況】 新規就農区分…0件 高度化区分 …0件 流動化区分 …1件 災害復旧区分…2件	ハウスの資材価格が高騰しており、自己負担額が大きくなったこと等が原因で新規でハウスを建てたい申請者が減少している一方で、中古ハウスの修繕又は移設による流動化区分の相談が増加している。  しかし、流動化区分にしても資材高騰の影響は大きく、規模拡大を検討している担い手に対して、この補助金以外にも様々な支援策の中から総合的に支援していくことが今後の課題と言える。	R5年度下半期については、流動化区分2件、災害復旧区分1件追加申請あり(11/8申請済)。  ●今後の申請予定 【12月】高度化区分1件、流動化区分1件  R6年度については、引き続き中古ハウスの修繕・移設(流動化区分)を中心に事業の活用に向けて、JAや農業振興センターと連携し、広報等で周知していく。 また、新規就農者への支援として、無利子の制度資金の活用と併せて新規就農区分によるハウス新設も積極的に案内していく。
	目標値 :整備件数(13件) 10月末実績 :3件  【実施主体】 JA高知県 香美地区/個人  【連携する分野】 -			
	2. 環境制御技術高度化事業	【当初】 JA及び市場等を通じて要望を取りまとめて、炭酸ガス発生装置等のリース導入を行った施設園芸農家に対し、国及び県の補助金に追加して香南市も助成を行う。  【10月末までの取り組み状況】 0件	県の交付決定を受けていることが要件となっているため、現状、市に交付申請が出されていない。 JA及び県との情報共有を引き続き行っていく。	R6.1以降に申請が出される予定。 R5.10末時点での県交付決定済件数18件  R6年度はハウス本体の補強・高度化に係る補助内容を追加していく。ハウス内部設備に対する補助は現状リース導入のみとしていたが、購入の場合でも補助対象としていく。
	目標値 : 活用施設件数(25件) 10月末実績 :0件 ※件数 = 経営体数 R5年度事業名:園芸用ハウス等リノベーション事業 【実施主体】 香南市  【連携する分野】 -			
3. 産地パワーアップ事業(ニラ)	【当初】 R3年度で事業終了			
目標値 : 事業活用件数(2件) 10月末実績 : 一件 ※件数=導入機器数  【実施主体】 香南市  【連携する分野】 産地パワーアップ計画書 【香南市(ニラ)第2期】				
4. 地域計画の策定	【当初】 地域にある農地や後継者の現状を把握し、未来に向けた地域のプランを設計する。 R5～6: 全地区(18地区)の計画策定。  【10月末までの取り組み状況】 1地区(佐古地区)で座談会を開催。残り17地区についても年度内に座談会の開催を行う。	座談会開催に向けての調整に時間を要してしまい、10月末での座談会開催が1地区のみとなっている。	今年度、全地区での座談会開催に向けて関係機関に座談会スケジュールを提示している。今後はスケジュール通りの座談会が開催できるよう取り組んでいく。	
目標値 : 協議地区数(6地区) 10月末実績 : 1地区 ※人・農地プランの法定化によりR5より地域計画としての取り組みとなる。  【実施主体】 香南市 香南市農業委員会  【連携する分野】 -				



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>経営改善・農地維持に向けた取り組み</div> <div> <div>2</div> <div>飢餓をゼロに</div> <div>  </div> </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいの経済成長も</div> <div>  </div> </div>	<div>5. 農産物のブランド化の推進(みかん)</div> <div>           目標値 :加工用みかん販売平均単価(円)  <b>10月末実績 :一千元</b> </div> <div> <b>【実施主体】</b>            JA高知県香美地区(山北果樹集出荷場)         </div> <div> <b>【連携する分野】</b>            商工業・観光         </div>	<b>【当初】</b> 山北みかん産地のPRを行っていく中で、山北みかんを使用した加工品の増加、または販売拡大に繋げる。その中で一層のブランド化を図り、加工用みかんの販売単価を向上させていくことで農業所得の向上や雇用促進、地域活性化を図る。	極早生～早生みかんの収穫時期となり、みかん産地の最盛期を迎える中で、露地みかん部会をはじめ各地でフェアやイベントへの出店が始まってきている。過去に事業活用により生まれたジュースやバターのほか、様々な企業、団体による各種加工品もあり、加工用みかんの販売単価は少しずつでも上昇傾向にある。	露地みかん部会主体のイベント参加などに市としても積極的に連携を図っていく。アグリコレットでの山北みかんフェアへのPR資材貸出や県外イベントへの同行なども予定しており、まずは青果物としての山北みかんのPRによるブランド化の推進を行っていく。また、引き続き地域おこし協力隊制度の活用や山北みらいとも連携し、産地の後継者不足解消に向け取り組んでいく。
	<div>6. 農産物の販売力の推進(ニラ)</div> <div>           ※ JA高知県(香南市分)入金額            ※ 園芸年度：8月～翌7月         </div> <div>           目標値 :ニラ販売額(1,000,000千円)  <b>10月末実績 :1,051,890千円(R4.8～R5.7)</b> </div> <div> <b>【実施主体】</b>            JA高知県 香美地区(香美地区 ニラ部会)            香南市観光協会・香南市・香美市         </div> <div> <b>【連携する分野】</b>            県物部川アクションプラン NO.1            日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト         </div>	<b>【当初】</b> 香南市の基幹品目であるが、H27年のニラ農家全戸225戸への意向調査等によると、10年後には戸数・収量共に3割～4割減となる恐れがある。このため、規模拡大志向のニラ農家や品目転換農家、新規就農者に対して、空きハウスの活用や省力化・収量向上の支援を行い生産量の確保を図る。また、流通・販売、観光イベントと連携したPR等により産地強化を推進する。そぐりセンターの積極的な活用を促し、販売促進を図る。	R5園芸年度(R4.8月～R5.7月)としては1,051,890千円であり、目標値を達成。しかし、系統外出荷も依然として多い現状もあるため、市場など系統外出荷への流出をいかに防ぎ産地の結束を高めていくかが今後の課題と言える。	そぐりセンターの積極的な活用やニラを活用した商品(加工品)の可能性を探り、産地の強化に繋げていく。また、JA 集出荷場の機能が強化されたので、販売にも力を注いでいってもら。
	<div>7. 中山間地域等直接支払事業</div> <div>           目標値 :対象農地面積(7,500a)  <b>10月末実績 :7,055a</b> </div> <div> <b>【実施主体】</b>            各地区の活動組織         </div> <div> <b>【連携する分野】</b> -         </div>	<b>【当初】</b> 中山間地域の農業生産条件が不利な地域において、5年間の各集落団体による農地保全や営農活動を推進する。令和2年度からは第5期対策(5年間、令和2年度～6年度)として11団体で6,650aに取組む。交付金の加算項目となる「集落戦略の作成」「協定間の連携による広域化活動」「指定棚田地域振興活動」等の取組み実現に向けて各団体を支援していく。	各協定の構成員の高齢化も影響し、対象面積の増加に繋がらず、昨年度実績と同様に対象農地面積を7,055aで補助申請を行った。10月に集落協定の代表者と対象農地の現地確認を実施して、維持管理が不十分と見られた農地については、草刈り等の対応をするように指導を行い、改善した。	令和6年度が活動最終年度(5年目)となるため、既存の集落協定の活動継続や対象農地面積を増加に向けて、集落協定代表者と面談を行った上、計画(案)を作成する。また、広報等で制度の周知を行い、新規の集落協定の掘り起こしに繋げる。
	<div>8. 多面的機能直接支払事業</div> <div>           目標値 :対象農地面積 33,590a  <b>10月末実績 : 27,764a</b> </div> <div> <b>【実施主体】</b>            各地区の活動組織         </div> <div> <b>【連携する分野】</b> -         </div>	<b>【当初】</b> 各地区の活動組織に対し、交付金を支払い、農地や農業用水路等の保全と質的向上を図る。 R3 : 再認定1組織(上夜須)、既存組織の対象農地面積拡大	対象農地面積の増加をしてもらうため、各組織へ依頼をしているが、活動人数に限りがあることからさらに対象農地の面積を増やすことが難しい。今後も活動組織向けの研修会などのサポートを継続して行っていく必要がある。	来年度に向けて既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう組織に向け呼びかけを行う。
		※R4～R6 :R2年度から具体化具体化している予定の「人・農地プラン(R5年度からは地域計画)」等と連携して各地域の実態を把握し、対象の団体数や農地面積の拡大を図り、次期対策へと繋げていく。		集落戦略を作成した3協定(下山川・坪井・夜須南部)に対し、必要に応じて計画の修正等を実施する。
		<b>【10月末までの取り組み状況】</b> 対象農地面積7,055aで補助申請を行った。(8月) 対象農地の協定代表者と現地確認を実施済み。(10月)		

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
経営改善・農地維持 に向けた取り組み <div>  </div>	<b>9. 有害鳥獣被害対策実施事業</b>  目標値 : 駆除数(735頭羽) <b>10月末実績 : 206頭羽</b>  <b>【実施主体】</b> 香南地区猟友会 / 香我美狩猟クラブ <b>【連携する分野】</b>	<b>【当初】</b> 鳥獣被害の軽減するため、猟期外にも捕獲許可を出し、捕獲体制の強化を図る。捕獲者には報償金を交付する。  <b>【10月末までの取り組み状況】</b> イノシシ:59頭、シカ:86頭、その他(カラス、タヌキ、ハクビシン等):61頭	駆除を行っている香南地区猟友会や香我美狩猟クラブからの情報提供では、昨年の豚熱の影響から今年はイノシシの頭数が減少している。被害報告等で目立った増加は現時点で確認されておらず、報告のない潜在的な被害も多くあると思う。農業被害以外での生活環境被害の相談が多く、今後の課題と考えられる。	11月15日から猟期に入るため下半期は駆除としての件数は、減るが、引き続き住民からの被害情報や目撃情報等を香南地区猟友会や香我美狩猟クラブと共有し、連携を図ることで有害鳥獣対策を行っていく。
	<b>10. 有害鳥獣被害防止事業</b>  目標値 : 柵の設置距離数(10,000m) <b>10月末実績 : 2802m</b>  <b>【実施主体】</b> 香南市  <b>【連携する分野】</b> -	<b>【当初】</b> 有害鳥獣が農地に入らないように、補助金を交付し、防護柵の設置を推進する。 ※ 補助制度について香南市広報掲載や農業者から有害鳥獣による被害があった場合に活用を促す等して周知し、防護柵の設置を推進する。  <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 申請件数:20件、申請ベースでの距離数:2,802m うち実績確定件数:18件、設置距離数:2,546m	豚熱の影響もあってかイノシシによる被害報告が減っており、被害対策としての本事業の申請件数は昨年と比べて減少している。それでも、一定数の被害は確認され続けており、シカの被害なども中山間地を中心に恒常的に発生しているもの。そのためワイヤーメッシュ柵、電気柵の申請が多くなっている。 駆除の依頼や相談があった際に、当補助金の紹介を行い、申請を促すことで被害対策の強化を図っている。	シカによる被害情報が多く、下半期は山北みかんをはじめ最盛期を迎える作物も多いため、引き続き本事業の周知による防除と猟友会等による駆除との両面で有害鳥獣対策を行っていく。
基盤整備・防災への取り組み <div>  </div>	◆ 農業生産基盤の充実にに向けた取り組み			
	<b>1. 耕作条件改善事業</b>  目標値 : 地区数 (3地区) <b>10月末実績 : 2地区</b>  <b>【実施主体】</b> 香南市  <b>【連携する分野】</b> -	<b>【当初】</b> 1. 土居・徳王子地区 水路改修工事 用水用転倒ゲート設置(2ヶ所) 2. 白岩地区 水路測量設計委託業務 転倒ゲート設置(3ヶ所)  <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 土居・徳王子地区…着工済み 白岩地区…集積計画の再調整中	土居・徳王子地区についてはR4年度に実施した測量設計に基づきR5年度より工事に着手している。  白岩地区については、R4年度に採択決定通知が下りていたが、その後予定していた集積計画の担い手が白紙となり、担い手確保については再度地元調整を行いながら、測量設計を同時進行で取りかかっている状況。また、転倒ゲートの設置計画では、下流域の耕作者との調整が課題となっている。	土居・徳王子地区についてはR6年度の事業完了に向けて引き続き工事の進捗管理を行っていく。 白岩地区については改めて地元調整を行っており、新たな集積計画に向けて話し合いを進めながら、次年度以降の工事着手箇所について地元調整を進めていく。  また、現在、地域計画策定に向けた地域との協議の場(座談会)を開催しているところであり、そこでの地元要望箇所や担い手の状況により、今後の事業実施予定地区の調整を行っていく。
	<b>2. 重油流出防止付燃料タンク整備事業</b>  目標値 : 整備数 (20か所) <b>10月末実績 : 3箇所</b>  <b>【実施主体】</b> JA高知県 香美地区 燃料販売を行う事業者  <b>【連携する分野】</b> 流出防止装置付き燃料タンク等整備計画	<b>【当初】</b> 重油タンク転倒時の流出防止付燃料タンクの整備及びヒートポンプへの変更の実施。 ※市が策定した流出防止装置付き燃料タンク等整備計画に基づくタンク・防油堤の設置及びヒートポンプへの変更を実施する。  <b>【10月末までの取り組み状況】</b> タンク …3基 防油堤…3基  要望調査を実施。 関係機関とのタンク整備事業の推進協議を実施。	タンク及び防油堤の整備が義務付けられているが、災害により既存タンクが転倒し、二次災害がおこるリスクの認識が低いことや、自己負担が発生することで本事業への申請に至っていないケースが多い。また、事業者がタンクを整備する必要があるため、予算や事後管理等も含め、実施主体がJAの場合よりも、民間の燃料販売業者による実施が少ない傾向にある。農業者に災害によるリスクの認識を高めてもらうとともに、燃料販売業者にも事業の必要性を理解してもらうことが課題と言える。	引き続き、JAや農業振興センターと連携を図り、加温品目の生産者部会等への直接的な事業案内を中心に事業の周知、推進を行っていく。 また、県の事業担当課ともPR方法を検討し、燃料販売業者へアプローチしていく。

令和5年度の取り組み状況 【林業分野】

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
間伐面積	65ha	0ha	-	

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<b>【R5.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</b> 保育間伐(施業地調整中)及び搬出間伐(香我美町撫川)を実施中。 <b>【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A)</b> <b>【R4年度上半期】</b> 引き続き保育・搬出間伐を実施していく。(事業主体:香美森林組合) R5年度実績見込み ・保育間伐(森林所有者実施分) 3.62ha(香我美町上分・別役)見込み ・保育間伐(香美森林組合実施分) 実施予定(夜須町沢谷) ・ 搬出間伐 25.51ha (香我美町撫川) 見込み <b>【R6年度】</b> 保育間伐(施業地調整中)、搬出間伐(香我美町撫川・舞川、夜須町仲木屋)を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。 R4年度から意向調査を実施し、森林所有者情報や意向を集積している夜須町細川での森林整備について、林業事業体と意見交換をした上で計画を立てる。
---

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理			
	1. 意向調査の実施	【当初】 森林環境譲与税を活用し、森林境界明確化済みであるが、整備されていない森林の所有者に市から調査文書を発送し、自身が保有している森林の今後の管理について、「自身で管理する」又は「市に管理を委ねる」の回答を得る。 R5: 夜須町細川地区・沢谷地区で調査を実施。 R4年度の調査対象地区において回答がなかった及び戸籍等で探索が必要な森林所有者に対して調査を実施する。 野市町内での間伐実施可能な森林の選定、地区の追加。  【10月末までの取り組み状況】 夜須町沢谷地区・細川地区の森林所有者の情報を整理中。	現在、意向調査の発送に向けて準備中である。 R4年度に引き続き、既存の森林経営計画の近隣に位置し、地籍調査未実施である夜須町沢谷に加え、夜須町の地下水量の確保を目的として、夜須川流域の地籍調査実施済みである夜須町細川を選定している。	【R5年度11月以降】 森林所有者への意向調査を発送する。 ・夜須町細川地区(1月発送予定) ・夜須町沢谷地区(1月発送予定) 野市町内での地下水量の維持・増進のため、将来的な間伐実施に向けて林業事業体と意見交換をした上で、今後の意向調査実施地区の調整を図る。  【R6年度】 引き続き、夜須町細川地区・沢谷地区で調査を実施する。
	目標値 :意向調査の面積(140ha) 10月末実績 : 0ha			
	【実施主体】 香南市  【連携する分野】 -  【参考】 意向調査(地籍調査未実施)の面積の算定方法 森林簿面積×回答済みの登記簿面積/全体登記簿面積			
◆ 森林境界明確化事業の実施				
1. 森林管理制度森林境界明確化委託事業	【当初】 R4年度から意向調査を実施中の夜須町沢谷地区で約40ha実施予定。  【10月末までの取り組み状況】 事業実施に向けての準備。	R4年度に意向調査を実施した森林の中で、意向調査の回答が無く、現在の所有者が不明な森林が存在するため、探索が必要である。	【R5年度11月以降】 11/10に香美森林組合と契約し、夜須町沢谷で事業を実施中。所有者不明の森林があるため、意向調査を再送付し、所有者を特定し、事業に同意をいただく。 R5年度実績見込み 42ha  【R6年度】 夜須町沢谷で53ha実施予定。	
目標値 :森林境界明確化委託業務面積(40ha) 10月末実績 : 0ha				
【実施主体】 香南市 ※連携団体(香美森林組合)  【連携する分野】 -				










令和5年度の取り組み状況 【水産業分野】

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
沿岸漁業 総生産額	300百万円	158百万円 (前年同月比92%)	-	

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<b>【R5.4月～10月末の取組について】(P・D・C)</b> ・沿岸漁業総生産額については、前年10月末比92%と若干減少している。これはシイラ及びイワシシラスが例年にない不漁であり、原因としては黒潮の離岸が原因と思われる。 ・平均単価(kg)は不漁ということもあり昨年度の単価より大幅な高値となっている。特にイワシシラスは2倍以上の単価となっている。 ・水産基盤施設の整備については概ね当初の目標計画通り遂行できている。また、漁船導入事業や担い手対策についても計画通り取り組んでいる。 <b>【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A)</b> ・今後の生産額については、シイラの漁期が終了することもあり、最盛期を迎えるイワシシラスの動向に注視していく。 ・認知度向上により単価の向上や担い手確保に取り組むことが必要である。
--

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
地産の強化	◆ 生産基盤の充実			
	1. 水産機能施設の整備 目標値 :整備件数(3件) 10月末実績 : 3件  【実施主体】 香南市・高知県漁業協同組合  【連携する分野】 -	【当初】 R5 ①吉川漁船修理場雨漏補修 ②吉川上架施設軌条改修 ③赤岡荷捌所改修 ④赤岡揚降施設改修 吉川7月発注 11月竣工予定 赤岡7月発注 11月竣工予定  【10月末までの取り組み状況】 ①吉川漁船修理場雨漏補修 10月完成 ②吉川上架施設軌条改修 R5.9.8～R6.1.15 ③赤岡荷捌所改修 10月完成 ④赤岡揚降施設改修 10月入札 不調 11月末入札	①10月に工事完成し予定通り遂行できた。 ②R5.11月に現場は完成しており、予定通り遂行できた。 ③10月に工事完成し予定通り遂行できた。 ④10月入札が不調となったため、11月末に再度入札	計画している工事はほぼ完成しているが、計画している改修整備以外に緊急の故障等により、漁業活動への支障を来している施設もある。そのため、各支所の状況を継続してヒアリングし、高知県漁協及び漁業者と連携し適切な維持管理に努める。  【R6に向けて】 ・吉川ホイストクレーン実施設計・改修 ・吉川漁船修理場シャッター実施設計・改修 ・吉川物揚げ場梯子設置工事 ・赤岡グレーチング改修工事実施設計・改修
	2. 漁港施設の整備 目標値 : 水産物供給基盤機能保全事業 保全計画 整備率(82%) (9/11施設) 10月末実績 :6.8%(7.5/11施設)  【実施主体】 香南市 【連携する分野】 -	【当初】 【水産基盤ストックマネジメント事業(長寿命化)】 ①夜須:住吉漁港 西防波堤 7月発注 12月竣工予定 ②吉川:吉川漁港 -3.5m航路・-3.0m泊地浚渫 7月発注 12月竣工予定  【10月末までの取り組み状況】 ①夜須:住吉漁港 西防波堤 契約済 R5.9.22～R6.3.4 ②吉川:吉川漁港 -2.0,-3.0泊地浚渫工事 契約済 R5.10.31～R6.2.12	①住吉漁港 西防波堤 現場の工事は5箇所のうち4箇所完成  ②吉川漁港 -2.0、-3.0m泊地の浚渫 契約済であり、12月に着工予定	機能保全計画に沿った保全工事を実施。 今後も定期的に深浅測量を行い、堆積状況を把握し、安全な航行体制の確保に努める。  ①住吉漁港 西防波堤 残りの1箇所を施工予定  ②吉川漁港 -2.0、-3.0m泊地の浚渫 浚渫できていない部分を施工予定

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】																																											
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて																																											
<div>地産の強化</div> <div><div>2</div><div>餌粮を ゼロに</div><div></div></div>	◆ 漁業者の生産性の向上																																														
	<div>1. 沿岸漁業設備投資促進事業</div> <div>目標値： 漁船導入事業件数(1件) 10月末実績:0件(完了していないため)</div> <div>【実施主体】 漁業者・漁業就業支援センター (漁協・高知県・香南市)</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】 漁船導入事業(漁船リースへの支援)</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 1件 交付決定済 年度末までには完了予定</div>	漁船導入事業について、今年度1件の申請があり、3月完了予定となっている。	<div>漁船導入事業は、一般社団法人 高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し、事業実施に向けた調整を継続していく。</div> <div>【香南市燃油等高騰緊急対策事業費補助金】 燃油価格等の高騰により厳しい経営状況にある漁業者及び養殖業者の経営の安定を図るため、漁業者及び養殖業者を対象に燃油や養殖用配合飼料の購入に対して支援をする。 ※セーフティネット加入者を対象</div> <div>【香南市沿岸漁業設備投資促進事業費補助金交付要綱】 【高知県燃油等高騰緊急対策設備投資支援事業費補助金交付要綱】 操業効率化を図るため、漁船レーダー等の設置に対し補助金を交付する。 ※香南市の補助金は浜の活力再生広域プランの広域水産業再生委員会に参画する漁業者 ※高知県の補助金セーフティネット加入者を対象</div>																																											
<div>流通・販売の強化</div> <div><div>2</div><div>餌粮を ゼロに</div><div></div></div> <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆ 市内水産物の認知度向上(ブランド化)																																														
	<div>1. 市内水産物の魚価向上</div> <div>【目標値】 【平均kg単価(円/kg)】 (シイラ) 【平均kg単価(147円/kg)】 (イワシシラス) 【平均kg単価(383円/kg)】</div> <div>10月末実績 (シイラ) 【平均kg単価(253円/kg)】 ・・・前年同月比141.3% (イワシシラス) 【平均kg単価(1,060円/kg)】 ・・・前年同月比 217.7%</div> <div>【実施主体】 高知県漁業協同組合 香南市観光協会 香南市商工会 シラス加工業者 漁業者 行政(高知県・香南市)</div> <div>【連携する分野】 観光分野、商業分野</div>	<div>【当初】 PRグッズ等の作成については、地元食材をPRできる素材を関係機関で協議し、水産物の認知度向上に向けた取り組みを支援していく。 また、R4年度から部会に参画していただいた内水面養殖業者からも部会の中で意見をいただき内水面養殖業についてもどのような取り組みをしていくか協議していく。</div> <div>【水産業関係者と連携可能な事業所とのマッチング】 ④ 漁協等と事業所のマッチングによる新商品の開発・販売</div> <div>【10月末までの状況】</div> <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">年度</th><th>シイラ</th><th colspan="3">イワシシラス</th></tr><tr><th>手結</th><th>赤岡</th><th>吉川</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">生産量(kg)</td><td>R4.10末</td><td>361,174</td><td>86,237</td><td>90,209</td><td>176,446</td></tr><tr><td>R5.10末</td><td>112,614</td><td>37,156</td><td>47,519</td><td>84,675</td></tr><tr><td rowspan="2">生産額(円)</td><td>R4.10末</td><td>64,581,476</td><td>42,268,960</td><td>43,718,500</td><td>85,987,460</td></tr><tr><td>R5.10末</td><td>28,509,431</td><td>41,939,020</td><td>47,790,450</td><td>89,729,470</td></tr><tr><td rowspan="2">平均単価(円/kg)</td><td>R4.10末</td><td>179</td><td>490</td><td>485</td><td>487</td></tr><tr><td>R5.10末</td><td>253</td><td>1129</td><td>1006</td><td>1060</td></tr></table>		年度	シイラ	イワシシラス			手結	赤岡	吉川	合計	生産量(kg)	R4.10末	361,174	86,237	90,209	176,446	R5.10末	112,614	37,156	47,519	84,675	生産額(円)	R4.10末	64,581,476	42,268,960	43,718,500	85,987,460	R5.10末	28,509,431	41,939,020	47,790,450	89,729,470	平均単価(円/kg)	R4.10末	179	490	485	487	R5.10末	253	1129	1006	1060	<div>(シイラ) 生産量は前年同月比31.2%となっており、kg単価は前年同月比141.3%となっている。 近年ないほどの不漁であり、単価は141.3%と前年を上回り、また、目標値も上回っている。</div> <div>(イワシシラス) 生産量は前年同月比48.0%となっており、kg単価は前年同月比217.7%となっている。 近年ないほどの不漁であり、単価は217.7%と前年を上回り、また、目標値も上回っている。</div> <div>・シイラ、イワシシラスともに不漁の原因の一つとして、黒潮の離岸により支流が土佐湾に入ってきていないと思われる。また、シイラは全国的に不漁で、また、イワシシラスも県外でも不漁あると聞いている。</div> <div>・漁村情報発信ポータルサイトへの掲載。シラス井(角弘海産)の写真を掲載し、土佐角弘海産のホームページとリンクしている。</div>	<div>・地元食材(シイラやシラス、ウナギ、鮎など)をPRできる素材を関係機関で協議し、水産物の認知度向上に向けた取り組みを支援していく。</div> <div>・漁村情報発信ポータルサイトやその他インターネット等を活用し水産物の認知度向上に向けた取組を支援していく。</div>
		年度			シイラ	イワシシラス																																									
手結			赤岡	吉川	合計																																										
生産量(kg)	R4.10末	361,174	86,237	90,209	176,446																																										
	R5.10末	112,614	37,156	47,519	84,675																																										
生産額(円)	R4.10末	64,581,476	42,268,960	43,718,500	85,987,460																																										
	R5.10末	28,509,431	41,939,020	47,790,450	89,729,470																																										
平均単価(円/kg)	R4.10末	179	490	485	487																																										
	R5.10末	253	1129	1006	1060																																										
<div>2.高知県漁協手結支所の販売額 (県内外の取引先との取引継続)</div> <div>目標値： 販売額(5,400万円) 10月末実績：1,770万円</div> <div>【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 (高知県・香南市)</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大</div>	<div>【当初】 【県漁協手結支所販売事業の支援】 凍結機器の導入も支援しており、最終販売者に対して何の支援が必要か聞取り等を漁協において実施し販売額の維持・拡大を図る。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 仲卸業者への冷凍フィレ出荷の増 R2 294千円→R3 1,583千円→R4 3,500千円→ R5 500千円(10月末)</div>	<div>・冷凍フィレの出荷について昨年度と比較したところ、減となる見込みだがシイラの不漁が原因である。</div> <div>・R6年度以降にブライン凍結機を予定しているが、購入により販路等を拡大した場合、シイラを加工する人員不足が懸念される。</div>	<div>・令和6年度以降に産業振興計画補助金により予算を計上し、ブライン凍結機導入を予定している。 課題にある通り人員不足を解消するため、高知県漁協等と協議し販路等拡大のため協議を進めていく。</div>																																												

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】	
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて	
流通・販売の強化 <div><div>2</div><div>餌魚を ゼロに</div><div></div></div>	3.シラス加工品販売額	【当初】 今後取り組んでいく課題の整理。また、商工業サイドでの支援策も含め関係機関の情報を収集していく。  【10月未までの取り組み状況】 漁村情報発信ポータルサイトにおいて土佐角弘海産のシラス丼のPRを行った。	第1回部会で、加工業者の件数が少ないことから販売額が分かってしまうため、数値目標の設定はしないこととした。	目標値は設定しないが、加工業者を訪問し、実情をヒアリングすることにより、今後取り組んでいかなければならない課題などを整理していく。 また、商工業サイドでの支援策も含め関係機関の情報を収集していく。	
	目標値：設定なし  【実施主体】 シラス加工業者 (高知県・香南市)  【連携する分野】－				
	◆ 学校給食等への納入				
	1-1. 学校給食等への納入(かちりじゃこ)	【当初】 市内水産物(かちりじゃこ)の給食センターへの納入促進 食育をメインとした映像等で市内漁業の紹介ができる教材の作成する  【10月未までの取り組み状況】 こうなん 25回 赤岡・吉川 18回	和え物等の複数の献立に使用されることもあり、計画通り進んでいる。	教育委員会(給食センター)・香南市農業公社と連携し引き続き納入していく。 当初計画にあったとおり、食育及び担い手メインとした映像等で市内漁業の照会できる教材の作成について、香南ケーブルテレビに依頼し作成中である。	
	目標値：納入回数(60回) 10月末実績：43回  【実施主体】 市内加工業者 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)  【連携する分野】－				
	1-2. 学校給食等への納入(シイラ)	【当初】 市内水産物(シイラ)の給食センターへの納入継続 食育をメインとした映像等で市内漁業の紹介ができる教材の作成する  【10月未までの取り組み状況】 こうなん 9回 赤岡・吉川 6回 香美 1回	10月末現在で例年どおりに順調に推移している。		
目標値：納入回数(24回) 10月末実績：16回  【実施主体】 高知県漁業協同組合 手結支所 香南市 (地産地消推進協議会・給食センター等)  【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大					
担い手の確保 <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保				
	1.担い手の確保事業 (自営漁業者育成事業) (漁家子弟支援事業) (雇用型漁業支援事業)	【当初】 市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であることから、雇用型・漁家子弟での確保を目指す。 R5：水産業紹介教材の作成  【10月未までの取り組み状況】 12月から1名の「雇用型漁業支援事業」による支援を実施する予定である。 水産業紹介教材の作成は、香南ケーブルテレビへ依頼し作成中である。	市内漁業形態では1人での操業が厳しい状況であり、「雇用型」「漁家子弟」での担い手確保を目指している。 今後1人雇用型の予定がある。	今年度は、12月から「雇用型」での新規漁業就業者支援事業を活用する予定である。 今後も(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携により、就業希望者へ広く周知していく。 当初計画にあったとおり、食育及び担い手メインとした映像等で市内漁業の照会できる教材の作成について、香南ケーブルテレビに依頼し作成中である。	
	目標値：就業人数(1人) 10月末実績：0人  【実施主体】 香南市 (一社)高知県漁業就業支援センター 高知県漁業協同組合・漁業者  【連携する分野】 農業分野、林業分野、住宅分野				



令和5年度の取り組み状況【商業分野】

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
商業者数 (事業所)	763事業所	—	—	
新規事務系企業数 (企業/年)	2社	1社	—	

※ 商業者数は、香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。  
H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定

※ 新規事務系企業数は、香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

<p>【R5.5月～10月末の取組について】(P・D・C)</p> <p>商業者数は、年度末以降に公表が行われるため、評価は示していない。新規事務系企業数は、包括連携協定を締結している企業の進出により、1件の実績に繋がった。</p> <p>空き店舗活用に向けた取組としては、中心市街地及び地域商業活性化を図るため、昨年策定した「香南市中心市街地活性化計画」に基づいた取組を推進しているが、実行体制の強化が課題。空き店舗等対策事業費補助金は、商工会とも連携した事業周知に努め、現時点で3件の実績となっており、主に市内不動産会社が所有している物件情報を集約して市HPへの掲載を行うことで、空き店舗情報の発信にも取り組んでいる。</p> <p>担い手確保に向けた取組としては、HPや広報等を通した事業紹介を実施。創業支援計画の認定件数は0件となっているものの、10月末時点において、6件の新規創業があった。</p> <p>商業支援の取組としてはインボイスに関するセミナーを開催(商工会主催)しており、R6年2月にはデジタルマーケティングセミナーも開催予定である。</p> <p>【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A)</p> <p>空き店舗活用に向けた取組については、地域事業者及び関係機関と連携しながら「香南市中心市街地活性化計画」の取組を推進していく。また、空き店舗情報の集約に努め、窓口や市HPで紹介できる物件の充実を目指す。</p> <p>事務系企業誘致については、オンライン等による継続した誘致活動を展開するとともに、立地企業が行う人材募集等に関して支援を実施していく。</p> <p>担い手確保に向けた取組については、市HPや広報誌等も活用しながら、各種支援策の周知に努める。</p> <p>商業支援の取組についても、現在実施している「第2期原油価格等高騰対策給付金」をはじめとして、各種施策の広報に努めるほか、地場産品販売促進事業では、今後も継続して事業PRに努め、新商品の開発等にも注力していく。</p>
--

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
空き店舗活用に向けた取り組み	◆ 空き店舗対策			
	1. 商店街等振興計画の策定	【当初】 実行体制の構築を行い、策定された計画内容を実行に移すことができるよう取り組んでいく。 また、取組を推進していく支援策として、「中心市街地活性化計画推進事業費補助金」を創設する。  【10月末までの取り組み状況】 ・計画に基づくイベントの開催状況 ＜B:回遊の仕組みづくり班＞ 8/1～8/31:スイーツスタンプラリーの開催 ＜C:中心エリアの魅力向上班＞ 10/14:フジグラン野市にて「香南かるたでゲット!」の開催 ・R5.5/8付けにて「中心市街地活性化計画推進事業費補助金要綱」制定	R4年11月に策定した「香南市中心市街地活性化計画」のアクションプランに基づき、4月以降、各グループに分かれた打合せを実施。地域事業者を中心として、商工会や行政も含めて協議を進め、2つのイベントを開催した。 また、県補助金に上乘せする形で、市としても補助金制度の創設を行っており、今年度は、事業を実施した2団体に交付済。 今年度の取組も踏まえた、開催内容の磨き上げ、実行体制の強化が必要なほか、補助金の補助対象期間＝計画期間(R5年～R7年)となっていることから、期間終了後の収支面での自立に向けた実行体制の構築も課題となっている。	11/17に開催される中心市街地活性化協議会ワーキンググループにて、次年度の取組内容(案)の検討を行ったうえ、その後開催予定である中心市街地活性化協議会での報告を予定。次年度以降においても、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう、実行体制の強化を図りながら、取組を推進していく。
	目標値：計画に基づくイベント開催数 10月末実績：2回  【実施主体】 香南市 / 香南市商工会 / 地域商業者 【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興			
	2. 空き店舗実態調査の実施	調査完了に伴い、終了とする。		
	目標値：－  【実施主体】 香南市 香南市商工会  【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興			
<div>8働きがいも経済成長も</div>				
<div>9産業と技術革新の基盤をつくろう</div>				

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>空き店舗活用に向けた取り組み</div> <div> <div>8働きがいも経済成長も</div> <div>9産業と技術革新の基盤をつくろう</div> </div>	<b>3. 空き店舗バンク事業</b> <b>目標値</b> : 登録件数(15件)※延べ <b>10月末実績</b> : 5件 <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興	<b>【当初】</b> 空き店舗及び物件情報を共有し、市HP等で発信するとともに、四半期に一回程度の更新を行う。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 主に市内不動産会社が所有している空き店舗物件情報について集約を行い、市HPへの掲載を実施。	市内における貸出可能な空き店舗物件は少なく、10月末時点の市HPへの掲載物件数は5件となっている。 空き店舗物件の紹介を求められる相談者もいるため、提供できる情報の増加を図っていく必要がある。 なお、R4年度をもって完了した空き店舗実態調査に関しては、空き店舗数や、外観から判断した活用可能性のある物件の洗い出し等は一定行っているものの、物件所有者へのアプローチまでには至っていない。	不動産会社等に対して本取組への協力を依頼し、掲載物件数の増を図る。 また、商工会等とも連携し、空き店舗を探している方々への周知も行い、マッチングに繋がるよう努めていく。 ※「空き店舗バンク」という形態ではなく、市内不動産会社が所有している情報の提供場所を増やすことで、より効果的に空き店舗の有効活用へ繋げることを狙いとして取り組んでいく。
	<b>4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金)</b> <b>目標値</b> : 補助金利用件数(2件) <b>10月末実績</b> : 3件 <b>【実施主体】</b> 香南市 / 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興	<b>【当初】</b> 空き店舗を活用した創業を支援する。 市HPや広報誌での情報発信、不動産業者や金融機関等への補助事業の説明を行い、支援策の周知に努める。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・市内金融機関に対する補助事業の説明(8/7) ・市HPでの情報発信 ・補助金に関する問い合わせ:2件 ・補助金活用による新規創業:3件	昨年度と比較すると、創業に係る支援策の問合せは少ない状況であるが、補助金の活用は10月末時点で3件となっており、昨年度の実績を上回っている。 補助金を活用できる対象物件を増やせるよう、空き店舗情報の集約に努めていく必要がある。	今後も、支援策の周知に努めるとともに、市商工会等と連携し、創業時の経営計画策定や手順等について支援を行い、空き店舗を活用した創業に繋げていく。
	<b>5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致</b> <b>目標値</b> : 誘致企業数(2件) <b>10月末実績</b> : 1件 <b>【実施主体】</b> 香南市 <b>【連携する分野】</b> 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興	<b>【当初】</b> 地方への進出を検討している首都圏企業に対して、補助制度や物件情報等を提供することで、市への企業誘致を図る。 ・イシン(株)との連携による首都圏企業訪問(オンライン) ・空き店舗等の物件調査(随時) ・香南市情報サービス施設等設置促進事業費補助の活用 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・イシン(株)が高知オフィスを開所(4/1) ・立地検討企業への補助制度等の説明(説明企業:1社 ※オンラインによる説明) ・立地されている企業の就職説明会・面接会を実施(6/10)	H30年に包括連携協定を締結したイシン株式会社が、4/1付けで高知オフィスを市内に開設され、1件の実績となっている。 地方進出に興味がある企業に対する誘致活動については、引き続きイシン株式会社と連携を行い、オンラインでの補助制度等の説明を実施しているが、物件内覧等の来訪には繋がっていない。 また、昨今はウイズコロナにおけるテレワークの推進などにより、新たなワークスタイルが確立され、オフィス開設を見送る企業も多くなっている。	オンライン会議と企業訪問により、継続した企業誘致活動を展開するとともに、立地企業が行う人材募集等に関して支援(市HPや広報誌への情報掲載等)を実施していく。 また、市内空き店舗情報の集約に努め、紹介できる物件の充実を図る。
<div>担い手確保に向けた取り組み</div>				
	<b>1. 事業承継の推進</b> <b>目標値</b> : 事業継承事業者数(6者) <b>10月末実績</b> : 4者 <b>【実施主体】</b> 香南市 香南市商工会 <b>【連携する分野】</b> 工業分野、観光分野 県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興	<b>【当初】</b> 市広報誌等による定期的な情報発信を行う。 商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとの連携を図るとともに、事業承継に係る支援制度創設について検討していく。 <b>【10月末までの取り組み状況】</b> ・事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報を市広報誌に掲載(7月) ・市商工会による事業承継ヒアリング件数 4件 ※ ヒアリング内容:後継者の有無・承継に向けた準備の有無・相談相手の有無 等 ・事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数(香南市分): 16件 ・事業承継・引継ぎ支援センターによる個別相談会の開催(9/27):参加事業者 1者	事業承継について、市へ直接相談に来られるケースはほとんどない状況が続いている。 事業承継・引継ぎ支援センターが開催した個別相談会への参加者は1事業者となっているが、センターへの相談件数は増加傾向にあり、支援に対する潜在的なニーズを把握することが必要である。	今後も継続して、事業承継に関する情報を市広報誌等を活用して発信することで、事業承継の取組に対する意識向上を図っていく。 また、支援制度の創設も含め、事業承継の推進に向けた効果的な取組内容を、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとも連携しながら検討していく。



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>担い手確保に向けた取り組み</div>	<div>2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)</div> <div>目標値：利用件数(5件) 10月末実績：1件</div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 工業分野、観光分野</div>	<div>【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) 企業訪問や市広報誌+周知媒体を増やし事業の周知を行い利用件数の増加を図る。 城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で学生向けの周知も行うとともに、他分野と連携しより効果的な周知を行う。 【10月末までの取り組み状況】 ・香南市広報6月号掲載 ・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での事業紹介 ・合同企業説明会での案内 ・補助金交付済 4件(R3年度認定3件、R4年度認定1件) ・新規認定 1件(R5年度認定)</div>	<div>企業の新規採用者の中に対象者が少ない状況ではあるが、香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で周知を行うことで、1件の新規認定(今後、2件の認定申請見込みあり)に繋がっている。 今後も広く周知を行い、より多くの事業所の方に認知してもらう必要がある。</div>	<div>イベント開催時等にも積極的に事業の周知をおこない、少しでも多くの事業者を知っていただける活動を行う。 市のSNS(LINE・Facebook等)も活用し、若い世代への周知をより効率的におこなう。 成人式にて新成人に向けてチラシを配布予定。</div>
	<div>2-2.人材ニーズの掘り起こし及び発信</div> <div>目標値：－</div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 農業、林業、水産業、工業、観光分野、移住県 物部川アクションプラン NO.13 香南市中心商店街の振興</div>	<div>必要に応じて適宜関係機関等との連携はとるが、本計画の項目からは外す。</div>		
	<div>3. 創業支援事業計画</div> <div>目標値：創業者数(6人) 10月末実績：6人</div> <div>【実施主体】 香南市 香南市商工会</div> <div>【連携する分野】 工業分野、観光分野</div>	<div>【当初】 市が創業支援事業者(商工会、金融機関等)と連携して、専門家による支援等を実施し、創業される方や創業後間もない方を支援する計画(特定創業支援事業の認定を受けることで登録免許税の減額等の措置がある)。 支援事業者とも連携し、創業希望者への周知を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPでの情報発信 ・計画に基づく認定件数 0件</div>	<div>新規創業者は6名いるが、いずれも創業支援等事業計画に基づく認定は受けていない。 計画に基づく認定を受けるメリットが大きくないことも要因の一つと考えられるが、今後も、創業の相談があった際の紹介等を通して、制度の周知に努めていく必要がある。</div>	<div>創業者にとって、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1つのツールとして、創業希望者への周知を図っていく。</div>
	<div>4. 創業支援利子補給金事業</div> <div>目標値：利用件数(3件) 10月末実績：0件</div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】－ 工業分野、観光分野</div>	<div>【当初】 市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち年利1％に相当する額を補給する(補給対象期間は償還開始日から2年間で1事業者につき年間10万円を上限)。 商工会や金融機関等と連携し、本補給金事業の周知を図り創業時の経済的負担の軽減を図る。 【10月末までの取り組み状況】 ・市HPでの情報発信 ・市内金融機関に対する説明(8/7) ・利用件数 0件</div>	<div>申請の受付が令和6年1月となっているため、申請件数は0件となっている(10月末時点:3件の利用見込みあり)。 左記の取組以外にも、創業に係る支援策の問い合わせがあった際には、その都度、制度の紹介を行っている。</div>	<div>引き続き、商工会や金融機関と連携し、制度の活用を促すとともに、SNSや広報等も活用することで、創業予定の方、興味を持っている方へのアプローチの方法を増やし、幅広く周知できるような取り組みを行っていく。</div>
	<div>4 質の高い教育をみんなに</div> <div>8 働きがいも経済成長も</div> <div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div>			



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div> 商業支援	◆ 商業支援			
	1. 中小企業者等保証料補給金事業	【当初】 市内中小企業者が、対象となる県融資を受けた場合、融資に必要な信用保証を行う県信用保証協会に対して、補給金を補給する。 商工会や金融機関等と連携し、必要としている事業者 に周知を図る。  【10月末までの取り組み状況】 ・高知県信用保証協会との契約締結(4/1) ・市内金融機関に対する説明(8/7) ・新規利用件数(利用認定のみ) 1件 ・補給金補給件数(昨年度認定分) 2件 ・セーフティネット保証認定 13件 (うち4号:9件、5号:4件)	R3年度までは「緊急融資保証料補給金事業」として取り組んでいたものを、対象要件の緩和等を行い、昨年より本事業として推進している。 セーフティネット認定件数は10月末時点で13件であり、一定数の需要はあると考えられることから、今後も継続的な制度の周知に努める必要がある。	引き続き、市商工会や金融機関と連携するとともに、市HPへの掲載等も通して、より多くの事業者への周知を図っていく。
	元 緊急融資保証料補給金事業 目標値 : 新規利用件数(10件) 10月末実績 : 1件  【実施主体】 香南市 / 高知県信用保証協会  【連携する分野】 工業分野、観光分野			
	2. 各種セミナーの開催	【当初】 事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討する。  【10月末までの取り組み状況】 ・インボイス関連のセミナーを開催 (9/22:50事業者参加) ※商工会主催(講師:税理士)	R5年10月より開始されたインボイス制度について、商工会主催にてセミナーを開催し、50事業者の参加があった。 今後も、事業者を取り巻く現況の把握、事業者ニーズの把握に努めていく必要がある。	市内事業者等を対象とした、「デジタルマーケティングセミナー」を開催予定(2/16)。実施に向けて、広く周知を行っていく。 また、今後も事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。
	目標値 : 開催数(2回) 10月末実績 : 1回  【実施主体】 香南市/香南市商工会 【連携する分野】 工業分野、観光分野			
3. 香南カーニバル事業	【当初】 —  【10月末までの取り組み状況】 —	—	市内事業者の経営状況の把握に努め、必要に応じて、商工会と検討を行う。	
目標値 : 検討 10月末実績 : —  【実施主体】 香南市商工会 / 地域商業者 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野				
4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業	【当初】 カタログ5,000千円 + ふるさと応援寄付金 120,000千円 計 125,000千円 今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトにおいては、季節商品を掲載する等、引き続き内容の拡充を図っていくことで、地元事業者の売り上げ増を目指す。  【10月末までの取り組み状況】 ・新たな事業者開拓 カタログ:新規参加事業者(7社)、新商品(45商品) ふるさと:新規参加事業者(6社)、新商品(263商品) ・イベント等への出店や資料発送による、特産品、カタログやふるさと応援寄附のPR	各種イベントでの物販や、カタログ配送によるPRのほか、季節商品の取扱い等によるECサイトの内容拡充にも取り組んでいる。 ふるさと納税については、R5年度よりコンサル業者とも連携した返礼品の開発、事業者への個別サポート等に注力しており、返礼品数の大幅な増にも繋がっている。また、R5年10月の制度改正に伴い、9月末に駆け込み需要が増加したこともあり、昨年度比(10月末時点)125%の売上とはなっているが、10月以降は申込が減少傾向にある。今後も継続して返礼品開発等が必要。	今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトの内容拡充やふるさと納税関係事業者へのサポート等に努め、地元事業者の売上増を目指す。  ※ふるさと納税の登録サイト数については、11～12月にかけて、4社追加予定	
目標値 : 事業者売上額(125,000千円) 10月末実績 : 51,147千円 ○ギフトカタログ売上 3,522千円 ○ふるさと応援寄附金売上 47,625千円  【実施主体】 香南市観光協会 / 香南市 【連携する分野】 農業分野、水産業分野、観光分野  県 物部川アクションプラン NO.14 香南市における特産品づくりと販売の促進				

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
商業支援	5. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム補助金)	<b>【当初】</b> 市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事を行った場合、その工事費用の20%(上限20万円)を補助する事業。 利用度も高く、市内経済にも寄与していることから、R5年度からの2年間も継続する見込み。  <b>【10月末までの取り組み状況】</b> 97件の申請(内2件取下げ、1件減額変更申請)があり、予算1,500万円に対し、1,499.4万円が交付決定している。5月から受付を開始して、8月末の事前申請にて予算枠に達し募集を終了した。(その後減額申請があった。) 実績報告済みの総事業費は約6,500万円(64件分)で、未報告分(31件)を含めると目標の10,000万円を達成する見込み。	住宅リフォーム推進事業については、住民及び市内事業者への補助制度の周知が進み、利用率も高く、人気の高い取り組みとなっている。 本年度についても、目標値である総事業費10,000万円に達成する見込みであり、変わらず人気のある補助事業となっている。	当補助事業は2年ごとに事業継続を見直すこととなっている。 R6年度は、R5年度に引き続いて事業を実施する予定。 また、R6年度については、R7年度以降の事業継続を検討する年度となっている。
	目標値：総事業費(10,000万円) 10月末実績：6,519万円(64件) 見込：10,194万円(95件合計) <b>【実施主体】</b> 香南市(住宅政策課) <b>【連携する分野】</b> -			

令和5年度の取り組み状況 【工業分野】

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
製造品出荷額	420億円	－	－	
新規雇用者数	16人	4人	－	

※ 製造品出荷額は、経済構造実態調査(調査年は前年度の製造品出荷額)のR4年工業統計結果

※ 新規雇用者数は、市内立地企業に新たに雇用された市在住の方の数

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R5.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 製造品出荷額420億円の目標に対し、R5年実績(R4年1月～R4年12月)の経済構造実態調査結果は未だ公表されてないことから、R5年10月末現在の評価は示していない。また、新規雇用者数については、10月末現在で合計4人となっている。 「企業誘致の促進」に向けた取組として、香南市企業立地促進事業費補助金については、R4年度に補助金交付申請のあった2社ともに、補助金交付要件となる新規地元雇用者が予定人数に達したため、R5年度中での補助金交付を予定している。 「既存企業の育成・支援」については、市内事業者への原油価格高騰対策として、「第2期原油価格等高騰対策給付金」を実施し、各種支援事業とあわせて企業訪問等で周知を行った。 また、小学生の夏休み期間に、工場見学ツアーを開催し、若者の地元定住に繋がる取り組みを実施することができた。 【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A) 「企業誘致の促進」については、補助金交付予定の2社と連携しながら手続き等を進めていく。また、産業用地となり得る遊休地の把握に努め、企業誘致の促進に向けた取り組みを進めるとともに、立地企業の企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げていく。 「既存企業の育成・支援」については、各種支援事業を継続して行うとともに、企業訪問等により市内事業者の課題等を把握し、市内経済の活力再生に繋がる新たな支援策の具現化に努める。 また、合同企業説明会を開催(R6年2月予定)し、市内企業の魅力発信や雇用支援にも取り組んでいく。
---

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
企業誘致の促進	◆ ものづくりの基盤整備			
	1. 新規工業団地整備事業	【当初】 事業中止		
	目標値：造成基本設計 10月末実績：事業中止  【実施主体】 香南市 / 高知県  【連携する分野】 -			
<div>9産業と技術革新の基盤をつくろう</div>	2. 香南市企業立地促進事業費補助金	【当初】 ・立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げる。  【10月末までの取り組み状況】 ・補助金申請2件 (株)ミットヨ…(R4.11.1操業開始) (株)暁産業…(R4.7.11操業開始) (株)タケナカダンボール…R5年度中に補助金申請予定	補助金申請のあった2社ともに新工場が竣工し操業を開始しており、補助金交付の要件となる新規地元雇用者が予定人数に達したため、R5年度中の補助金交付を予定している。また、今年度中に補助金申請を予定している企業も含め、事業の進捗確認等を今後も行っていく必要がある。	・補助金交付申請のあった2社については、R5年度中の補助金の交付に向けて引き続き事業者と連携して進めていく。 ・R5年度交付申請予定の1社については、指定申請・補助金交付申請に向けて、ヒアリング等を行いながら連携し進めていく。また、新工場建設に向けて立地企業の雇用スケジュールにあわせて企業説明会・面接会を開催し、一人でも多くの地元雇用に繋げる。



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>既存企業の育成・支援</div> <div>4 質の高い教育をみんなに</div> <div>8 働きがいも経済成長も</div>	◆ 中小企業の技術向上&経営革新の支援			
	<div>1. 商談会開催事業</div> <div>目標値： 商談件数(50件)</div> <div>10月末実績： 21件</div> <div>【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】</div> <div>・高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会への参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・高知県内開催 商談件数…8件(工場視察商談会 6回)</div> <div>・高知県外開催 商談件数…13件(6/20大阪ミニ商談会)</div>	<div>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行され予定どおりの商談会の開催となっており、10月末現在で県内外合計21件の商談実績となっている。</div> <div>・不安定な社会情勢の影響により、材料価格の高騰等懸念される問題が多く、受注案件の確保が課題となっている。</div>	<div>・11月～3月末までの間に「工場視察商談会」を6回、県単独商談会を2月に1回開催予定。</div> <div>・引き続き高知県産業振興センターと連携するとともに、企業訪問等により商談会への参加を促すことで受注拡大と販路拡大を図る。</div>
	<div>2. 中小企業者の生産性向上支援事業</div> <div>目標値： 先端設備等導入計画認定件数(15件)</div> <div>10月末実績：新規認定 7件 変更認定 0件(設備追加)</div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】</div> <div>・市内の中小企業者等が、年3%以上の「生産性向上に繋がる設備計画(先端設備等導入計画)」を策定し、市の認定を受けたうえで実施する設備投資に係る固定資産税率が3年間1/2に軽減されるうえ、さらに賃上げ方針を従業員に表明した場合は最長5年間、1/3に軽減される制度。</div> <div>・先端設備等導入計画の認定(受付期間は令和7年3月31日まで)</div> <div>・認定支援機関等と連携して事業の周知をしていく。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・企業訪問による事業紹介</div> <div>・香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会での事業紹介</div> <div>・先端設備等導入計画新規認定(7件)</div> <div>・香南市先端設備等導入事業費補助金交付(4件)</div>	<div>・R5年度税制改正により、中小企業者の前向きな投資や賃上げを後押しするため、新たな固定資産税の特例措置が新設された。</div> <div>・10月末現在の認定件数は7件となっており、原油、物価高騰の影響による企業の設備投資の抑制が、認定申請の少ない一つの要因として考えられる。</div>	<div>・当事業は、R5年度に新たな固定資産税の特例措置が新設されR7年度末までの事業となっている。計画認定を受けることで活用が可能となる「香南市先端設備等導入支援事業費補助金」により、更なる軽減が図れる旨も説明しながら、引き続き計画の認定支援機関である商工会や金融機関等と連携し、市内の中小企業者に事業の周知を行い、認定件数の増加を図っていく。</div>
	<div>3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金)</div> <div>目標値： 利用件数(5件)</div> <div>10月末実績： 3件</div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 商業分野</div>	<div>【当初】</div> <div>市内に事業所がある事業主や従業員等を対象に、人材育成に係る研修への参加、講師招聘に係る経費について、1事業所あたり年間20万円を上限として補助。(補助率1/2)</div> <div>企業訪問や立地企業交流会等で事業の周知を行い利用件数の増加を図る。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での事業紹介</div> <div>・補助金交付済(3件)</div> <div>・要綱の一部改正(R5.4)</div>	<div>・香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で事業の周知活動を行ったことにより、10月末時点で3件の申請に繋がった。</div> <div>・現在、HP等に要綱等の掲載はしているが、事業内容自体を十分に把握されていない事業者も多く、周知の方法等を検討していく必要がある。</div> <div>・令和5年4月4日付けで要綱の改正を行い、申請書類の一部簡素化を図った。</div>	<div>・引き続き、香我美町立地企業交流会やものづくり会等の会の中での周知や企業訪問による周知活動を継続し、利用事業者の増加を図る。</div> <div>・商工会と連携し、より幅広い事業者に対しての周知を目指す。</div> <div>・工業分野に限らず、商業や観光業等の他分野の事業者にも利用していただけるよう連携して周知をしていく。</div>

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>既存企業の育成・支援</div> <div> <div>4</div> <div>質の高い教育をみんなに</div> <div>  </div> </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも経済成長も</div> <div>  </div> </div>	<div>4. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金)</div> <div>           目標値 :利用件数(5件)            10月末実績 : 1件         </div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 商業分野、観光分野</div>	<div>【当初】 人材の確保と市への定着を図る事を目的に、市内に事業所等を有する事業主に雇用され、又は本市において起業する方を対象に、借り入れた奨学金の一部を助成する。 (返還奨学金の1/2又は就労期間に10,000円を乗じた額のいずれか少ない額 ※最長8年間) 企業訪問や市広報誌＋周知媒体を増やし、事業の周知を行い、利用件数の増加を図る。 また、城山高校の2年生を対象とした合同企業説明会で、学生向けに事業周知を行う。他分野と連携し、より効果的な周知を行っていく。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ・香南市広報6月号掲載 ・香我美町立地企業交流会及びものづくり会での事業紹介 ・補助金交付済 4件(R3年度認定3件、R4年度認定1件) ・新規認定 1件(R5年度認定)</div>	<div>・企業の新規採用者の中に対象者が少ない状況ではあるが、香我美町立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で周知を行うことで、1件の新規認定(今後、2件の認定申請見込みあり)に繋がっている。 ・今後も広く周知を行い、より多くの事業所の方に認知してもらう必要がある。</div>	<div>・工業分野だけでなく商業や観光などのイベント開催時にも積極的に事業の周知をおこない、少しでも多くの事業者を知っていただける活動を行う。 ・市のSNS(LINE・Facebook等)も活用し、若い世代への周知をより効率的におこなう。 ・成人式にて新成人に向けてチラシを配布予定。</div>
	<div>5. 合同企業説明会の開催</div> <div>           目標値 : 開催回数(2回)            10月末実績 : 1件         </div> <div>【実施主体】 香南市 高知県</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】 合同企業説明会を開催することで、立地企業の魅力を紹介するとともに、円滑な人材確保の支援と若者の地元定着を図る。 高知県主催合同企業説明会の開催について、広報等で周知を行い参加者数の増加を図る。 R6.2.7に城山高校での合同説明会開催を予定している。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ・高知県主催合同企業説明会の開催(9/20開催、市内参加企業6社、参加者数16人)</div>	<div>・高知県合同企業説明会の周知として、市広報誌やSNS掲載、香南ケーブルテレビによるテロップ放送を行い、参加者数の増加を図った。 ・香南市内の専門学校にも声掛けを行ったが、9月下旬は学生の夏季休暇期間が終了しており参加が難しかったこと、また、大学4年生は春先に就職活動に力を入れる方が多いと思われることから、合同企業説明会への学生の参加者数が少なくなっていると考えられる。 ・事前予約で参加された方は数名しかいなかったが、当日飛び込み参加の人数が多かった。</div>	<div>・城山高校の2年生を対象として、合同企業説明会を開催予定。(R6.2.7開催予定)、就職の選択肢の一つとして市内企業を知っていただけるよう、企業に参加の呼びかけを行っていく。 ・学生の参加者を増やしていけるよう、次年度の高知県合同企業説明会に向けて、県や市内学校等とも連携して開催時期等の検討を行っていく。</div>
	<div>6. ものづくり教育推進事業</div> <div>           目標値 : 工場見学やものづくり体験学習実施回数(1回)            10月末実績 : 1回         </div> <div>【実施主体】 香南市</div> <div>【連携する分野】 -</div>	<div>【当初】 次代を担う小中学生や高校生を対象に、工場見学の開催および「ものづくり体験学習」を実施し、地元企業との接点を設けることで地元の仕事を知り、地元で暮らすイメージを強めてもらう。 見学企業の選定や時間配分等の検討を行う。 体験学習等をコースに組み込めるか等についても検討していく。 周知方法として、香南ケーブルテレビや関係団体等と連携し、より多くの方々に周知できるようにする。</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ・市内の小学4年生～6年生を対象として、市内企業の工場見学バスツアーを開催(8/1開催、見学企業 2社、参加人数29名)</div>	<div>・小学生の夏休み期間(8月)に工場見学バスツアーを開催。市内の全小学校にチラシを配布し、周知を行ったことにより、29名の子ども達に参加してもらうことができた。 ・これまで夏休みでの開催を行ってきたが、熱中症の危険もあるため、開催時期や対象年齢等も検討していく必要がある。</div>	<div>・次年度の開催に向けて、訪問先企業数の選定やツアーの内容等の検討を行う。 ・見学だけでなく、体験学習も取り入れることで、子どもたちがより一層楽しめる内容を検討する。</div>



令和5年度の取り組み状況 【観光分野】

	R5年度 数値目標	実績値 (10月末実績)	評 価	備 考
観光施設入込客数	117万人	84.3万人	-	

※ 観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。（暦年 1～12月の合計）



【対象10施設】  
①県立のいち動物公園 ：175, 665人 / ②月見山子どもの森 ：18,807人 / ③ヤ・シィパーク ：242,064人  
④絵金蔵 ： 6,863人 / ⑤天然色市場 ： 28,594人 / ⑥やすらぎ市 ：169,558人  
⑦あぐりのさと ：10,172人 / ⑧黒潮温泉 ： 91,286人  
⑨創造広場「アクトランド」： 48,593人 / ⑩土佐カントリークラブ： 52,158人

■ 取組の総評 （※ 左の数値に対しての総評）

【R5.4月～10月末の取組について】(P・D・C) 数値目標117万人に対し、実績値が84.3万人(達成率72%)となっており、前年度比98%(前年度同時期86万人)となっている。前年度は市内入込客数の回復のため「香南いこいこキャンペーン」を実施していたが、本年度の実施はないものの、入込客数は横ばいとなっている。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、イベントや祭り等が通常開催となっており、HPやSNSでの情報収集が増加している。観光客が戻ってきていることが伺えることから、各施設の課題を共有し、周知・誘客・周遊を連携していく必要がある。
【R5.11月以降(R6年度以降含む)の取組について】(A) 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを12月31日までの予定でしたが、令和6年1月31日まで延長して実施し、自転車活用による香南市内の周遊促進を行う。 令和6年3月23日から3月31日の土日の4日間で西川花祭りとかがみチューリップまつりへの周遊を図るため、香南市周遊花めぐりを実施する。

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
香南市観光の発信	◆ 情報発信手段の効果的な活用			
	1. 香南市のPR活動の強化 目標値：イベント参加数 25回 (日曜日+高知新港PR 参加回数) 10月末実績 :30回 日曜日(18回) 4/2・4/23・5/14・5/28・6/4・6/25・7/9・7/16 7/30・8/6・8/20・8/27・9/10・9/17・10/1・10/8・10/22・10/29 高知新港(12回) 4/13(ウエステルダム)・4/19(スターブリーズ)・4/23(セブンシーズ)・5/15(MSCベリッシマ)・5/22(クイーンエリザベス)・7/1(MSCベリッシマ)・7/7(シーニックエクリプス)・8/29(飛鳥Ⅱ)・8/31(招商伊敦・)9/2(MSCベリッシマ)・10/5(セレブリティミレニアム)・10/25(MSCベリッシマ) ・れんけいこうちクルーズ観光物産フェア(10/25)  ・土佐赤岡どろめまつり(4/30) ・沖縄県八重瀬町・南の駅やえせイベント用に香南市特産品発送(5/27) ・大阪市立長居植物園・高知マルシェ(5/28、9/30、10/1) ・青少年育成剣道大会(7/2) ・スイーツスタンプラリー(市主体:香南市活性化スイーツプロジェクト) ・イオンモール岡山高知移住フェア(9/23) ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン(9/1～12/31) ・第1回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～(10/1) ・「おでかけ！全国うた自慢まち自慢」(10/24放送) ・ツーリズムEXPO2023大阪・関西(10/26・10/27BtoB、10/28・10/29一般客) 【実施主体】 香南市 / (一社)香南市観光協会 / (一社)物部川DMO協議会 【連携する分野】 -	【当初】 観光客や外国人の来訪が期待される日曜日と高知新港へのイベント出店による観光・特産物PRで香南市の認知度向上につなげる。 日曜日・・・新規事業者への出店呼びかけ 高知新港・・・外国語パンフレット配布 【日曜日 15回 / 高知新港 10回 / 年】  【10月末までの取り組み状況】 【日曜日】 香南市内事業者に声掛けし、出店を18回行った。 新規事業者や久しぶりの出店事業者もあり、商品販売を行うことができた。 また、各イベントのPRや香南市内施設のパンフレット配布を行うこともできた。  【高知新港】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、昨年度に比べて寄港回数が増えており、積極的に出店・PRを行うことができた。 また、高知新港客船寄港時に合わせ、ひろめ市場前にて観光物産フェアが開催され、ひろめ市場へ訪れる乗客の方々へパンフレットやチラシ等を配布し、香南市のPRを行った。  【その他:イベント】 土佐赤岡どろめまつりをはじめ、各地域のイベントに出店し、パンフレット等を配布して香南市のPR活動を行った。 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンにより、市内施設を回ってもらい、周遊促進に取り組んでいる。  【その他:県外】 ・大阪市立長居植物園で開催された高知県マルシェや岡山イオンで開催された高知フェアに出店し、高知県一体となって観光PR及び物販を行った。 ・姉妹都市沖縄県八重瀬町・南の駅やえせに特産品コーナーを常設設置してもらった。	日曜市は、昨年度に引き続き、南国市の出店日枠を譲っていただく等、積極的に出店ができています。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、高知新港への客船寄港回数が増えており、積極的な出店により、たくさんの方々に香南市の特産品や施設等のPRができています。客層やクルーズ船が「旅の始まりに寄港したのか、旅の終わりに寄港したのか」によって売れ行きや興味が異なっていた。 香南市内のイベントでのPRだけでなく、朝の連続テレビ小説「らんまん」による県外イベントへの出店により、県外の方にもPRすることができた。 ツーリズムEXPOは「四国」としてのブース力が弱いため、開催地の取捨選択が必要だが、高知県や四国ツーリズム創造機構がセッティングする以外の旅行会社(インバウンドを含む)と商談できる唯一の機会である。 第1回KONAN TRAILでは香南市の特産品をエイドや入賞者への賞品・抽選会で提供し、香南市の魅力を直接伝える機会となった。	日曜市は、新しい出店事業者の発掘や積極的に出店ができるよう広報・HPへの掲載や香南市観光協会会員への定期的な呼び掛けなど出店機会の周知を行う。 高知新港にはこれまでの販売実績等をもとに関心が高いと思われるクルーズ船寄港にに合わせて積極的に出店し、香南市の特産品や施設等のPRを行っていく。 ツーリズムEXPOは高知県や四国ツーリズム創造機構がセッティングする以外の旅行会社(インバウンドを含む)と商談できる唯一の機会であるため、積極的に参加し、観光客の誘致に取り組む。 次年度は「あんばん」や大阪関西万博のため、出店機会が増えると思われることから県外での積極的な出店、PR活動を行う。 姉妹都市である八重瀬町の南の駅やえせに香南市の特産品コーナーが常設設置された。今後も継続することで姉妹都市としての経済活動やPRの強化につなげる。また、現地で4年毎に開催される結フェスタに合わせて出店を検討し、互いの連携強化を図る。 高知県マルシェやクルーズ観光物産フェア等では、多くの方々に立ち寄っていただき、特産品やイベント等のPRを行うことができたため、今後も市町村PRイベント等がある際には積極的に参加し、幅広い層へ香南市のPRを行っていく。  【今後の予定】 山北みかんこもれびマルシェ (11/3) 高知大学ホームカミングデー (11/4) 土佐井グランプリ2023(11/4・5) ふるさとまつり (11/17、11/18、11/19) ヤ・シィの秋まつり (11/19) カシオワールドオープン2023 (11/23～26) 冬の夏祭り (12/2、12/3) ものべがわフェスタ2023(12/23) 明治安田生命ヨコハマタイヤレディス(3/7～3/10) 香南市周遊花めぐりバス運行(3/23、3/24、3/30、3/31)




戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>香南市観光の発信</div> <div> 8     </div>	<div>2. 香南市のPR活動の強化</div> <div> 目標値 :HPアクセス件数(140,700件)  (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計)  10月末実績 :167,873件  (訪問者 86,911件、閲覧数 167,826件)  Guidoor:47件  【実施主体】  香南市/ (一社)香南市観光協会  【連携する分野】 - </div>	<div>【当初】</div> <div> コンテンツの充実を行うとともに、香南市全体の観光情報・イベント情報を更新および発信するとともに、HPへのアクセスを誘導するステッカー・ポスターを配布し観光情報を広く発信する。  【10月末までの取り組み状況】  1位:4,622訪問…(8/15)手結盆踊り  2位:2,585訪問…(8/26)田園祭  3位:2,151訪問…(7/30)みなこい港まつり  【特設サイト】  ・第1回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～特設サイトをオープン  ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン特設サイトをオープン  ・香南ニラプロジェクト内容を更新  【情報提供先】  ・高知県公式観光情報Webサイトこうち旅ネット・物部川DMO協議会・高知銀行よさこいおきゃく支店・ミリカ・高知新聞社ココハレ・四国電力他など  【その他】  ・HPやSNSへ誘導するQRコードを入れたうちわ(らんまんにちなんだ香南市の“花”デザイン)をイベント等で配布 </div>	<div> 特設サイトをイベントやキャンペーンに合わせて作成し、ページ内容の更新やニュースについても随時更新ができた。  イベントが再開され、HPも多くのイベント情報を掲載できるようになった。手結盆踊りのアクセスの伸びは、天候による花火の開催についての情報を求めたためアクセスが伸びた。  KONAN TRAIL特設ページでは大会終了後に速やかにリザルトを投稿し選手が欲しい情報をすぐに公開することができた。  Guidoorでは各施設にQRのステッカーを配布しているが、既に施設にきた人が読み取ることが少ないことや認知度が低いと考えられる。 </div>	<div> 各地で開催されるイベント情報等を分かりやすく迅速に掲載していく。  毎年アクセス数が伸びる傾向のある花の情報や関連イベント情報は、特設ページにて随時情報発信を行う。  Guidoorを活用してインバウンド向けの情報発信につなげる。 </div>
	<div>3. SNSを活用した情報発信</div> <div> 目標値 :フォロワー数 (5,600人)  (LINE+インスタグラム+Facebook)  ※ 香南市観光協会の各SNSを対象  10月末実績 :6,548人  LINEターゲット582(フォロワー1,098)  Insutagram 2,263  Facebook 観光協会 フォロワー 1,124  Facebook 塩の道 フォロワー 1,624  Facebook こーにゃんフォロワー 573  Facebook マリンF フォロワー 56  YouTubeチャンネル フォロワー 326 ※項目追加  【実施主体】 (一社)香南市観光協会  【連携する分野】 - </div>	<div>【当初】</div> <div> 様々なツールを用いた情報発信を行い、香南市の観光情報・イベント情報をリアルタイムで発信する。  ※閲覧数や「いいね」の数等傾向を分析・把握し、フォロワーのニーズに即した訴求力の高い情報を発信する。  【10月末までの取り組み状況】  香南市に関するイベント、テレビ、風景、特産品などの情報をタイムリーに発信している。 </div>	<div> Facebookでは土佐塩の道トレイルランニングレースのページをそのままKONAN TRAILの情報を掲載しているが、新大会ということもあり49人のフォロワーが増えた。  Instagramのフォロワーも昨年度より363人増えた。  YouTubeチャンネルは今期現在まで7本の動画を投稿。(令和3年6月より公開、現在まで全32動画投稿)  令和5年3月25日に開催された「狐の嫁入り」を令和5年3月31日に公開。公開以来、80,352回再生されており、グーグルで「狐の嫁入り」で検索しこのチャンネルを見ている。地域は大阪市・札幌・横浜・福岡市が多い。9月中旬から10月上旬にかけて再生されており、リピート視聴をしている人もいる。  その他の動画も、1,000回以上再生されているものもあるが、群を抜いて狐の嫁入りの再生回数が多い。 </div>	<div> 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンの周知として11月2日から12月5日の33日間、高知市を中心としたエリアに1日2,000円の予算にて配信予定。わくわく特集ページに誘導し、レンタサイクルの利用促進を図る。  より分かりやすく、パッと見ただけでもより読みたい・観たい投稿ができるようにし、問い合わせやメッセージにはなるべく早く返信をするなど、引き続き丁寧に取り組んでいく。  今後検索されて資料されるような取組をする。  【今後の予定】  YouTube動画投稿は、KONAN TRAIL、若一王子宫秋の大祭(11月下旬)の投稿を予定している。 </div>

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
観光の育成に に向けた取り組み	◆ 核となる観光拠点の形成			
	1-1. ヤ・シィパークを核とした地域の 活性化促進プロジェクト	【当初】 ◆ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意 形成、整備の実施 ・活性化協議会を通じた運営体制の検討。 ・観光拠点化に向けた運営体制の確立。	■入込数は昨年同時期(154,306人)に比べ、若干減少し、目標には達成しておらず、現在空き店舗の2店舗に入店しない限り入込数の増加は難しいと思われる。 ■空き店舗のB棟を、5月から12月までの期間限定で株式会社山北みらいのみかんバターの加工場として貸し出しをしている。 ■竹灯りの宵のイベントで、ヤ・シィパーク駐車場を臨時駐車場として、また、駅前ロータリーをシャトルバスの運行に利用したところ、マサラの売上が通常の土曜日より夜間の来客が増加した。	■空き店舗のB棟については飲食店の開業希望者があり内見を行ったが、その後の進捗はないため、今後も引き続き空き店舗への入居者を募集していく。 ■R6年1月、冷蔵ケースの新規入れ替の為に、やすらぎ市は4日間休業。その期間、やすらぎ市の仮店舗としてC棟で臨時営業する予定。 ■イベントでのヤ・シィパーク駐車場利用により、他の店舗への波及効果もあることから、今後、公園の収益、道の駅の収益のあがる企画に取り組んでいく。
	目標値 :道の駅やす入込 (298,000人) 10月末実績 :153,486人	【10月末までの取り組み状況】 ○整備方針 9/25 活性化協議会		
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ / 高知県 / 香南市	○観光拠点化 4月～10月 レンタサイクル(114台) 7/1 土佐よさこいツーデユオーク 7/15～8/27 海水浴 7/16 マリンフェスティバルYASU2023 7/31 親子木工教室(月見山こどもの森) 8/15 手結盆踊り・花火大会 10/1 KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎのトレイル～ (一社香南市観光協会) 10/21 キックバイクで遊ぼうよ(こうなんスポーツクラブ) 10/21 昆虫展 10/28 芸西竹灯りの宵イベントの駐車場とシャトルバス	【今後の予定】 PONO映画祭～hand in hand～(11/11) ヤ・シィの秋まつり (11/19) 海辺のイルミネーション(12/1～12/30) ヤ・シィシクロクロスカップ(2/10・2/11) 香南市周遊花めぐりバス運行(3/23、3/24、3/30、3/31)	
【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進				
	1-2.ヤ・シィパークを核とした地域の 活性化促進プロジェクト (manamana)	【当初】 ◆売上アップに向けた取り組みの強化 ①内部の体制強化、②店舗の周知 ③外販の強化	①内部体制の強化 ・アイス部門とカフェ部門をわけたことで少しずつ成果が出始めている。 ・カフェ部門は必要最低人員数を確保できたので運営できるようになったが引き続き、雇用を増やす必要がある。	①内部体制の強化 ・来期にむけてアイス部門の責任者の雇用・育成が急務。 ・慢性的な人材不足のため、会計や注文時の自動化など、機械化を進めていかなければならない。
	目標値 : 売上高 (55,867千円) 10月末実績 :16,666千円	【10月末までの取り組み状況】 ①内部体制の強化 ・マナマナの運営をアイス部門責任者とカフェ部門責任者にわけて運営を開始。(5月～) ・カフェスタッフ2名雇用(5月) ・アイス製造スタッフ1名退職(9月) 現在、カフェスタッフ3名、アイススタッフ3名で運営しているが、あと1～2名の雇用は確保しておきたい。(すべて非正規雇用者)	②店舗の周知 ・TV・雑誌ともに取材・掲載いただき良いPRになった。 ・イベントなどの出店は例年とほぼ変わらず実施できた。	②店舗の周知 ・イベント出店に関しては今後、取り組む。 ・アイス、カフェ共にトピックのある商品を開発し地元メディア(TV、新聞)を活用していく。
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ / 高知県 / 香南市	②店舗の周知 ＜TV取材＞ ・旬感！マル得LIVE(RKC)にて香南ニラ塩焼そばをPR。(6/13) ・シェア・フル(KUTV)にてアイスバーをPR。(7/18) ・関西テレビにてアイスバーをPR。(8/14) ＜雑誌取材＞ ・【女性自身】(光文社)にてアイスバーをPR。(8/8) ＜イベント＞ ・マリンフェスティバル(7/16) ・観光列車「時代の夜明け物語」にてマナマナアイスを販売(10月～) ＜SNS＞ ・Instagramにてランチや新メニューを随時発信	③外販の強化 新規取り扱い先も複数増えたものの既存のメイン百貨店の受注数が減少、結果前年比微増にとどまっている。 セット内容などマンネリ化もあり見直しが必要。	③外販の強化 ・今後、アイス製造に関しては増産増販は控え、損益分岐点を見直した上で一定数を製造販売する方針に切り替える。当社の商品をより理解し、取り扱っていただける販売先を確保する。新商品や限定商品など内容の活性化も図っていく。
	【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.11 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の促進	③外販の強化 ＜商談会＞ ・9/26地産外商公社、大阪での商談会:約5～6社商談中 ・10/24地産外商公社、じばさんセンター商談会出展  ＜新規取引先＞ ・5月よりアデリー(ベネッセたまひよクラブ内祝い)、東武百貨店、大丸松坂屋、藤崎百貨店 ・ふるさと納税の寄付額値上げによる利用者離れに対応しセット内容の見直しバリエーションを増やした。		


戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>観光の育成に 向けた取り組み</div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも 経済成長も</div> <div> </div> </div>	<div>2. 三宝山エリア活性化促進プロジェクト</div> <div>[地域と連携した高知県産ワインのブランド化促進事業]</div>	<div>【当初】</div> <div>◆栽培面積の拡大</div> <div>◆醸造・生産体制の確立</div> <div>◆ブランドの確立</div> <div>◆他事業者との連携</div> <div>【10月末までの取り組み状況】</div> <div>【栽培面積の拡大】</div> <div>・土佐町20a(集落活動センター)</div> <div>大月町30a(観光農園)と契約し圃場拡大</div> <div>【醸造・生産体制の確立】</div> <div>・ワイン増産に向けたステンレスタンク設備を導入</div> <div>・15次「もの補助」タンクの増設と新設備導入予定</div> <div>・みかんワイン系商品の本生産開始</div> <div>【ブランドの確立】</div> <div>・ワイナリーアワード3つ星獲得</div> <div>・日本ワインコンクール「欧州系白品種部門」で山北地区で栽培するシャルドネが入賞(銅)</div> <div>・ヤマブドウコンクールで山北、稲生で栽培するブドウのワインが3位入賞</div> <div>【他事業者との連携】</div> <div>・山北みらい社より、みかん果汁の調達量増加</div> <div>・城西館150周年用特別ワインの醸造</div> <div>・県、他行政主催のイベントへの積極的参加</div>	昨年の収穫量が増えたことから、欠品する商品が少なくなり通年県産ぶどうのワインが販売出来ている。 圃場拡大は、大月町、土佐町の生産者と契約することができ2026年には販売がスタートできる見込み。 コンクール入賞、アワード3つ星で首都圏との取引が増えた。 レジ通過数 7900名 来場者(見込)19,000名	営業担当を10月から採用し、観光動線や連携先等の検討と県外への販売に力を入れる。 人員不足解消に向けて売上向上、多能工化を今後も進めていく。 観光誘客できる手段と内容を検討する。 イベントの企画を充実させる。
	<div>目標値 : 売上高(59,122千円)</div> <div>10月末実績 : 43,238千円</div> <div>【実施主体】</div> <div>井上ワイナリー株式会社</div> <div>井上石灰工業 株式会社</div> <div>高知県 / 香南市</div> <div>【連携する分野】</div> <div>県 物部川アクションプラン NO.9</div> <div>高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進</div>		<div>【課題】</div> <div>スタートアップして間もないため、慢性的に運営に関わる人員が不足。</div> <div>周辺観光系の企業との連携まで手が及んでいない。</div> <div>観光誘客するためのコンテンツがワイナリーになく、買い物のみで終わらない仕組み作りが必要か。</div>	



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>観光の育成に 向けた取り組み</div> <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆広域観光の推進			
	<div>1. 物部川エリア観光連携事業</div> <div>目標値：対象9施設入込客数 (898,600人) 10月末実績：448,233人 (高知県立歴史民俗資料館は9月19日より休館中)</div> <div>【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 (一社)香南市観光協会 / 高知県 / 香南市</div> <div>【連携する分野】 県 物部川アクションプラン NO.18 物部川地域における広域観光の推進</div> <div>【対象施設】 ・南国市 西島園芸団地 高知県立歴史民俗資料館</div> <div>・香美市 香美市立やなせたかし記念館 龍河洞 べふ峡温泉 ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート</div> <div>・香南市 高知県立のいち動物公園 創造広場「アクトランド」 絵金蔵</div>	<div>【当初】 ① 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ② 観光商品の充実 ③ 観光客の広域誘致 ④ 地域連携による周遊促進 ⑤ 物部川地域の観光に携わる人材の育成</div> <div>【10月末までの取り組み状況】 ① 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 正会員16、準会員8、賛助会員5、連携団体5、合計39団体。</div> <div>② 観光商品の充実 ・7/15ユニバーサルビーチの開催(8月は2回天候不良で中止。) ・ワーケーション商品の開発、販売(2件)。 ・教育旅行(平和学習・防災学習)のプログラムを作成。旅行会社を招聘し、体験をしてもらう。 ・多言語化やプロモーションのため、「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」に申請、採択を受け、実施中。 ・土佐の観光創生塾と連携し、エリア内の事業者の商品造成本力及び販売力を強化。 ・「高知県BF(バリアフリー)観光ネットワーク」に参画、情報を配信 ・「食のユニバーサル」の受け入れ開始 ・ものべん:10月末までに11回の注文を受ける。 ・「言語のユニバーサル」のため、「環境に配慮した持続可能な周遊観光促進事業」実施中</div> <div>③ 観光客の広域誘致 ・JR観光列車エリア内連絡調整及びおもてなし(4～6月、10～12月) ・ワーケーション誘致(2泊3日1件、1泊2日1件) ・移住ツアー(3市＋高知市)の受託。 ・教育旅行の実施(1件) ・平和プログラムの一般団体への販売(1件) ◇商談数 高知県・四国ツーリズム創造機構商談会:82社 自社営業活動:7社 クルーズ船商談会:4社 修学旅行:15社 ◇高知新港寄港船顧客への観光案内・物販:8件 ◇ツーリズムEXPO 10月26日～10月29日 商談数:国内旅行会社21社 海外旅行会社23社 ◇ツアーアテンド6件 ◇予約状況:10件</div> <div>④ 地域連携による周遊促進 ・わくわくゾーンスタンプラリー(4～11月) ・「ものべ旅クーポン」事業の準備(クーポン配布開始日:12,1月) ・「ものべがわフェスタ」の実施準備(実施日:12月23日) ・ものべおしごと体験博の開催(8回) 企業訪問し、現地で仕事内容の一部を体験する。 県外からの応募もあり。 ➡「宿泊してでも体験したいイベント」の確立を進める ・3市フリーペーパーでの情報発信。</div> <div>⑤ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・3市の観光ガイドが互いのガイド地を学びながら意見交換する研修会を開催。(実施日:11月7日)</div>	<div>① 広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 1団体の賛助会員申し込み有。</div> <div>② 観光商品の充実 ・ユニバーサルビーチの開催。 8月は悪天候で予定していた2回が中止となった。 唯一おこなえたマリンフェスの日には、車いすYoutuberを招聘し、動画撮影を行った。 ・ワーケーションは昨年実施後、ブラッシュアップし販売を行うことができた。 ・教育旅行はDMOが旅行会社に営業後、旅行会社が学校に営業を行うという流れであり、学校にいかに魅力を伝えられるかの資料作りが必要となる。 ・食のユニバーサルは事業所のシェフが変わったこともあり、香南市では再スタートとなる。</div> <div>③ 観光客の広域誘致 ・ワーケーションは長期の受入れが課題。 ・商談は現在DMO職員1名で担当。団体、個人、インバウンド、教育旅行、ワーケーションなど多種の営業になり、人員不足を感じている。</div> <div>④ 地域連携による周遊促進 ・「ものべ旅クーポン」事業の実施(12,1月)は事業者によつての温度差がある。 ・「ものべがわフェスタ」の実施(12月23日) ・ものべおしごと体験博の開催(8回) 上記2つはいずれもこれまでかかわりのなかった地域の事業者などにお願ひにあがつているが、多くが快く承諾、実施できている。</div> <div>⑤ 物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・3市のガイドの会の交流では、「あんぱん」に向けた話し合いなどもなされ、ガイドの意気込みが感じられたが、DMOとしての取り組みが明確になっておらず、方向を決めかねている。</div>	<div>①広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ・DMO組織体制の強化に向けた会員組織の拡充に務める。 ・物部川流域3市における観光振興に関するトップ意見交換(11/20)</div> <div>②観光商品の充実 ・ユニバーサルビーチにて撮影したYoutubeは、英語訳を付けて配信。インバウンド対応もできるものとした。 ユニバーサルビーチは高知県バリアフリー観光ネットワークよりSNS配信も行ひ、広報方法が確立しつつある。 ・ワーケーションは販売はできたものの、1泊2日、2泊3日といった短期間の物であつたので、これを1週間、1か月と伸ばしてゆくブラッシュアップを行う。 ・教育旅行は2年後、3年後の予約となるが、旅行会社の招聘により確実に舞台上がることができるようになつたので、引き続き営業活動を行う。 ・土佐の観光創生塾を活用し、弁天座での体験商品ができつつあり、ブラッシュアップののち販売を開始する。 ・食のユニバーサルは事業所のシェフが変わつたこともあり、香南市では再スタートとなるが、南国、香美が順調に受け入れできていることから、スタートを切ることができれば順調に誘客が可能と算段している。</div> <div>③ 観光客の広域誘致 ・こうちこども未来ビレッジ(12/3) ・ワーケーションは長期の受入れが課題である。求められているのは「宿泊施設で」または「ワークスペースは宿泊施設から近距離で」といった内容であり、夜須を中心として確立を進めたい。 ・商談ができる人員の増員を図りたい。</div> <div>④地域連携による周遊促進 ・「ものべ旅クーポン」事業の実施(12,1月) ・「ものべがわフェスタ」の実施(12月23日) ・ものべ旅クーポンは個人事業種ほど積極的に参加してくれた印象。金額を大きく占める大型施設への今後の協力依頼方法を検討する。 ・おしごと体験博は3市外からの顧客獲得のための広報戦略をブラッシュアップする。</div> <div>⑤物部川地域の観光に携わる人材の育成 ・キッザニア甲子園視察研修 9名参加(11/27) ・次期、連続テレビ小説「あんぱん」への期待が大きいこともあり、ガイドをはじめとした観光に従事する人々へ、何を提案すれば喜ばれ、役立つかを検討する。</div>

戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div>観光の育成に 向けた取り組み</div> <div><div>8</div><div>働きがいも 経済成長も</div><div></div></div>	◆ スポーツツーリズムの推進			
	1. サイクルイベントの開催	【当初】 自転車を通じた観光客誘致と、市のPR、出店や市内飲食店等の収益増につながる大会として開催。 【対象イベントの開催】 三宝山ヒルクライム、ツール・ド・トレイン、ポタリング、シクロクロスカップ、3市ロングライド、健康サイクリング 【10月末までの取り組み状況】 ○健康サイクリング:参加者数(25名) 4月(11名)・5月(中止)・6月(5名)・7月(中止) 8月(中止)・9月(7名)・10月(2名) 【健康サイクリング広報】 市広報4月・10月号、(株)アニバーサリーコンシェルみんなのまちサイト、市・観光協会HP・SNS掲載 【イベント】 ○「キックバイクで遊ぼう」10/21開催:参加者数(96名) 【イベント協力:香南市観光協会】 「キックバイクで遊ぼう」広報・当日の司会等 【その他】 自転車のまち香南市応援サポーター 38人(企業・個人含む) 香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーン(9月1日～令和6年1月31日)	健康サイクリングは4回開催し、参加者数25名となっている。リピーターは確保できているが、新規参加者が少ないため参加者のニーズに合ったイベント企画・開催が必要となる。 その他のイベントについては、「キックバイクで遊ぼう」の開催のみ。 目標値を大幅に下回るペースとなっており、開催内容の充実や参加者増加につながる周知の強化が課題となっている。	毎月第1日曜日を健康サイクリングの日として開催しているが、参加者増加に伴い悩んでいることから、内容の再考を行い、効率的かつ集客に特化した内容に改善していく。 その他イベントについては、関係機関と協力し、参加者の増加や楽しんでもらえる内容を検討していく。 自転車のまち香南市応援サポーターで広報等に協力いただける方を通して、イベントの周知や参加の呼びかけを行う。  【10月以降の開催イベント予定】 タンDEM自転車講習会(11/11) 健康サイクリング(12月・1月・2月・3月) ヤ・シィシクロクロスカップ(2/10・2/11) キックバイクで遊ぼう(3月)
	2. 塩の道を活用したイベントの開催	【当初】 塩の道を活用したイベントを開催し、塩の道の次世代への継承と観光客増加をはかる。 ① トレイルランニングレース ② 30kmうおーく  【10月末までの取り組み状況】 ①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 10/1に第1回KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～を開催。203人のエントリーがあり、当日は182人が出走。完走者は176人で完走率は96.7%。四国193人(高知県150人内香南市18人)、中国6人、関西3人、中部1人。高知県150人には招待選手2人、視覚障がい者の伴走者1人を含む。 ヤ・シィパークを拠点に、夜須町羽尾から細川を通る「塩の道(徳善往還)と羽尾の自然を活かしたトレイルランニングレースを新大会として開催。  ②土佐塩の道30kmうおーく 4月22日開催、参加者数125人。 県外からも3名の参加があった。(京都府・徳島県・愛媛県)	①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 初めて夜須の塩の道を活用して開催した。けが人が発生したがその後、回復し無事に大会を終えることができた。アンケートによると大釜の滝、長谷寺、大釜荘、ヤ・シィパーク、展望台「そらこや」が印象に残ったとの意見があった。夜須町の自然を存分に体感してもらうことができ、エイド、弁当、上位入賞者への景品、弁当や豚汁など地域の食や特産品を活かした内容にしたことで地域の魅力を伝えることができた。  ②土佐塩の道30kmうおーく 令和4年度は5月開催で暑かったため、本年度は4月開催に変更し、うおーくに適した気温となった。コースは昨年度に引き続き、20kmうおーくコースと30kmうおーくコースの2コースで実施し、体力に応じたコースで参加しやすいものとなった。塩は赤岡の塩田で作られていたことからゴールを赤岡町の海浜に変更した。ロケーションは参加者に好評であった。昨年度、わかりにくいと指摘のあった道案内の標識については、標識の数・配置の変更、スタッフの配置場所を変更したことで、改善された。 課題としては、本部への連絡が重複し、伝達抜け、処理抜かりなどがあり、本部が混雑した。	①KONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～ 来年度の開催に向け、地域の方と相談しながら、コースや内容について検討する。 第2回大会も10月第1日曜日をの開催を予定し、募集人数を100人増やし300人の定員で計画を進めていく。  ②土佐塩の道30kmうおーく 4月開催で気候が良かったため、今年度に引き続き来年度も4月開催で調整していく。今回の課題を踏まえて、各部門間の報告体制整備や本部人員増加などの改善を図る。
	3. マリンスポーツの推進	【当初】 香南市マリンスポーツ施設やヤ・シィパークを活用した大会を開催するとともに、来訪者が手軽にマリンスポーツを満喫できるようマリン体験(SUP、ディンギーヨット等)を実施。マリンスポーツの推進を図る。  【10月末までの取り組み状況】 ①県外からの修学旅行体験 :176人 5/17(76)・5/27(65)・6/20(35) ②学校・教育団体体験 : 625人 6/13(64)・6/22(21)・6/23(68)・7/6(59)・7/7(3) 7/8(37)・7/13(36)・8/4(5)・8/25(38)・8/28(35) 8/30(20)・9/8(11)・9/14(98)・9/15(9)・9/21(18) 9/29(74)・10/19(29) ③障がい者の受入れ 222人 4/16(9)・5/12(24)・6/18(8)・7/11(13)・7/12(30) 7/22(8)・8/1(9)・8/11(10)・8/20(18)・8/23(11) 8/27(20)・9/9(48)・9/19(5)・10/26(9) ④ハンドinハンド大会 :9/17(20) ⑤一般体験者 : 延べ22人	県外からの修学旅行は、沖縄や海外に回帰していると思われる。 学校や教育機関に属する団体に関しては、周囲への認知が更に深まっているのではないと思われる。また前年度につくったチラシの配布効果も考えられ、2つの学校が初参加となった。国立室戸青少年自然の家の宿泊棟の減数により、青少年センターが受け入れていることで香南市でのマリン体験を選択している理由として挙げられている。 障がい者の受入れに関しては、受入日程に対して予約が集中したため、分散を余儀なくされ体験人数が減少した。また、会員の減少や高齢化が進み、受入体制が整わず、十分な受け入れができなかった。 大会が3年ぶりに開催されたが、職員不足により一般体験への対応が難しくなっており、受入体制の整備が急務である。	来年度は新体制でどのようにしていくのか、事業内容等を担当課と協議を進めていく。  【今後の予定】 ・ヤ・シィ水鉄砲フェス(11/19)



戦略の柱	事業名	R5年度の具体的な取組プラン【P】 R5年度の具体的な取り組み状況【D】	総 括【C】	今後の取組(対策、改善について)【A】
	R5年度の目標値 ・実施主体 ・連携する分野		原因及び課題(分析)	今後(R5.11月以降及び次年度)に向けて
<div> <div> 受入体制の強化 </div> <div> <div>8</div> <div>働きがいも経済成長も</div> <div>  </div> </div> </div>	◆おもてなしの向上			
	1.香南市案内人会の拡充 目標値：案内人会会員数（32人） 10月末実績：19人 【実施主体】 香南市案内人会 【連携する分野】－	【当初】 会員増に向けた勧誘や広報に取り組み、ガイド受入可能な体制の強化を図っていくとともに、ガイド技術向上のための勉強会や研修会を開催する。 【10月末までの取り組み状況】 晴海団地防災会 赤岡地区案内 23名(9/17)	新型コロナの影響があり、ガイドの依頼がなかった。 外国人を含めた観光客が増加しつつあるため、香南市観光協会や物部川DMO協議会との連携を強化し、案内ができるルートをPRしなければいけない。 会員の増加についても、案内人のPRができず会員数が減少したため、香南市商工観光課と連携し積極的に広報を行わなければならない。	野市町・香我美町・吉川町の観光ガイドルートを令和6年1月から順次作成する。(赤岡町・夜須町は以前に作成済) 香南市観光協会、物部川DMO協議会と連携し、ガイドを活用した観光のPRを図る。 香南市の魅力を伝える活動の周知やそれができる会員数の増加を図るため、市広報や香南市観光協会の案内人会のページを通して活動の周知や会員募集を行う。 【今後の予定】 3市の観光ガイド意見交換研修会(11/7) 土佐くろしお鉄道ガイド赤岡→かがみ(11/11) 安芸市観光ボランティアガイドの会(12/11) 香南市周遊花めぐりの誘導ガイド(3/23、3/24、3/30、3/31)
	2.外国人観光客受入研修の実施 目標値：参加事業者数 10事業者 10月末実績：事業者（実施予定） 受入実績：3事業者 【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 香南市 【連携する分野】－	【当初】 観光関係事業者向けインバウンド研修を開催し、文化やマナー、接客英語の習得を促し、外国人観光客とのコミュニケーション能力向上へ繋げる。 【開催時期】（講師：民間企業を予定） 【10月末までの取り組み状況】 昨年までに受講をされた観光施設、宿泊施設を中心に、台湾、中国、シンガポールの旅行会社を招聘、FAMツアーを行い、実際に受け入れをしていただいた。	施設の代表が受講はしているものの、全従業員が受入れに自信を持っているというまでには至っていない様子が感じられた。テキストの量の多さなどが原因かと感じられる。	受講したスタッフが事業所内で共有できる研修内容にしていく。 【今後の予定】 外国人観光客の文化理解のため、本年度取組を行っている「言語のユニバーサル」、昨年度から行っている「食のユニバーサル」の取り組みについて研修を行う。
	3. アンケート調査の実施 （観光地点パラメータ調査） 目標値：調査 10月末実績：実施 【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 香南市 【連携する分野】－	【当初】 香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。 また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 【10月末までの取り組み状況】 香南市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施し、観光客の属性・消費傾向等を把握する。 また、効果的な観光施策を展開していくための基礎資料とし、調査結果を個々の取り組みに反映する。 【10月末までの取り組み状況】 ものべがわエリア3市の観光施設29か所(うち香南市15)にアンケートカードを設置し、エリアを訪れた観光客を対象とした調査を実施。 観光客の属性、消費動向把握を継続中。 GWにのいち動物公園にて対面でアンケートを収集。エリア外からの観光客:実績59件。ものべがわエリア内住民満足度調査:17件。 WEBでのアンケートは10月末時点で550件。	WEBでのアンケート調査は昨年の10月末時点で850件であったため、回答が減っている。アンケートカード配布施設は増えたが、昨年までのマイクロツーリズムの影響で県内客からの回答が多かったことに対し、本年は県外観光客が増え、「アンケートを答えて謝礼品をもらうために移動する」という促しにたどり着けなかったことが一つの要因と考えている。 GWや各市のイベント時には対面調査を実施。「らんまん」に合わせ、アンケートの謝礼を植物を使ったワークショップにしたところ、好評を得られた。 「子育てファミリー」をターゲットにしているため、アンケート時には同時に「ものべぐるっとKIDSカード」の勧誘も行うことができた。	アンケート謝礼品のお渡しを宿泊施設に依頼し、観光客が気軽に答えられる環境づくりを行う。